

ボーリング柱状図

調査名 平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調査委託

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. 1		調査位置	新潟市東区新石山3丁目			北緯	37° 54' 12.53"					
発注機関	新潟市 下水道部 東部地域下水道事務所			調査期間	平成 26年 7月 22日 ~ 26年 7月 26日			東経	139° 5' 41.77"				
調査業者名	株式会社 興和 電話 (025-281-8815)		主任技師	笹川考義			現場代理人	梨本恭平		コア鑑定者	ポリング責任者	眞島克郎	
孔口標高	0.293m	角	180° 上 90° 0° 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90°	水平 0°	使用機種	試験機	YBM-05	ハンマー 落下用具	半自動
総掘進長	21.45m	度		向					エンジン		NFD-10	ポンプ	V-5

標高 尺 (m)	層厚 厚 (m)	柱状 状 図	土質 区分	色相 対対 密稠 度	相対 対対 密稠 度	記 事	孔内 水位 (m) 測定日	標準貫入試験				原位置 試験 深 度 (m)	試験 名 および 結果	試料 採取 深 度 (m)	採取 方法	室内 試験 (月 日)	
								深 度 (m)	10cm ごとの 打撃 回数	打撃 回数/ 貫入 量 (cm)	N 値						
1			細砂	淡茶	非常に硬い	上層0.20mまで硬いシルトからなる表土。1.70m付近までは含水多い。根、葉等の足入物はない。粒径は不均一で極めて細かい。	7/22 11.8	1.15	2	1	4	36					
2	-1.81	2.10	2.10	腐植土	暗茶	軟らかい。粘性は中位で軟質。未分解の繊維質を多く含む。		2.15	1	1	3	37					
3	-2.46	0.65	2.75					2.82	24	13	3	37					
4								3.15	3	3	5	11					
5								3.45				30					
6				暗青灰 青灰	中ぐら い	6.10m以深、上層に比べ粘りが良くなる。		4.15	7	8	9	24					
7								4.45				30					
8								5.15	7	7	8	22					
9								5.45				30					
10								6.15	6	7	9	22		6.15			
11								6.45				30		6.45			
12				暗青灰 暗灰	中ぐら い	11.60mまで中砂優勢。11.60~12.70m間、礫多く混入し、礫の最大径はφ30mm程度。		7.15	9	9	10	26					
13						12.70~13.50m間、φ5~10mm程度の礫が少量混入する。粒径不均一。		7.45				30					
14								8.15	7	9	10	26					
15								8.45				30					
16								9.15	7	8	9	24					
17								9.45				30					
18								10.15	8	10	11	29					
19								10.45				30					
20								11.15	11	13	16	40					
21								11.45				30					
22								12.15	7	9	10	26					
23								12.45				30					
24								13.15	12	13	18	38					
25								13.45				30					
26								14.15	7	8	9	24					
27								14.45				30					
28								15.15	5	6	8	19					
29								16.15				30					
30								16.45	8	10	10	28					
31								17.15	8	10	11	29					
32								17.45				30					
33								18.15	9	14	16	39					
34								18.45				30					
35								19.15	8	11	11	30					
36								19.45				30					
37								20.15	4	3	3	10					
38								20.45				30					
39								21.15	12	17	14	43					
40								21.45				30					

ボーリング柱状図

調査名 平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調査委託

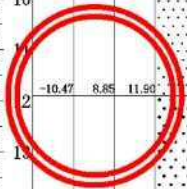
ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. 6		調査位置	新潟市東区石山団地			北緯	37° 54' 19.23"			
発注機関	新潟市 下水道部 東部地域下水道事務所			調査期間	平成 26年 8月 27日 ~ 26年 9月 2日			東経	139° 6' 29.45"		
調査業者名	株式会社 興和 電話 (025-281-8815)		主任技師	笹川考義		現場代理人	梨本恭平		コ	ア	
孔口標高	1.433m	角	180° 上 90° 下 0°		方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°		地盤勾配	鉛直 0° 水平 0°		
総掘進長	16.50m	度	0°		向			使用機種	試錐機 YBM05		
								エンジン	NS75		
								ハンマー落下用具	ポンプ		
									半自動		
									V-5		

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験				原位置試験	試験名	試験結果	深さ (m)	採取番号	採取方法	室内試験 ()	掘進月日		
									深さ (m)	10cmごとの打撃回数	10	20									30	
1				細砂	暗灰〜暗褐色	非常に緩い		0.05mまでアスファルト。0.30mまでφ30mm程度の卵石多量。0.50mまで粒径概ね均一な細砂にφ4.0mm程度の礫が少量混じる。0.50m以下、粒径概ね均一。含水少なく1.80m付近より多くなる。	8/27 2部立	1.15	1	1	3	35								
2	-0.77	2.20	2.20	腐植物混じり粘土	暗茶	軟らかい		未分解の繊維質を多量に混じる。粘性中位。		1.60	1	1	2	35								
3	-1.62	0.85	3.05							2.15	1	1	2	35								
4				細中砂	暗灰			3.70mまで 細砂優勢。粒径概ね均一。含水多量。 3.70m以下、細砂やや優勢〜優美。含水多く、掘進中漏水がみられる。		2.45	2	3	4	9	30							
5										3.15	2	3	4	9	30							
6										3.45	5	6	8	19	30							
7										4.15	6	8	9	23	30							
8										4.45	8	9	9	23	30							
9										5.15	8	9	9	23	30							
10										5.45	8	9	12	29	30							
11										6.15	8	9	11	28	30							
12										6.45	8	9	11	28	30							
13										7.15	8	9	11	28	30							
14										7.45	8	9	11	28	30							
15										8.45	8	10	12	30	30							
16										9.15	8	10	12	30	30							
17										9.45	8	10	11	29	30							
18										10.15	8	10	11	29	30							
19										10.45	8	10	11	29	30							
20										11.15	8	10	11	29	30							
21										11.45	8	10	11	29	30							
22										12.15	15	20	16	50	58	12.00						
23										12.41	9	9	11	29	30	12.15						
24										13.15	9	9	11	29	30	12.41						
25										13.46	17	18	15	50	58							
26										14.15	17	18	15	50	58							
27										14.41	14	15	16	45	45							
28										15.15	14	15	16	45	45							
29										15.45	8	8	9	25	25							
30										16.15	8	8	9	25	25							
31										16.45	8	8	9	25	25							



ボーリング柱状図

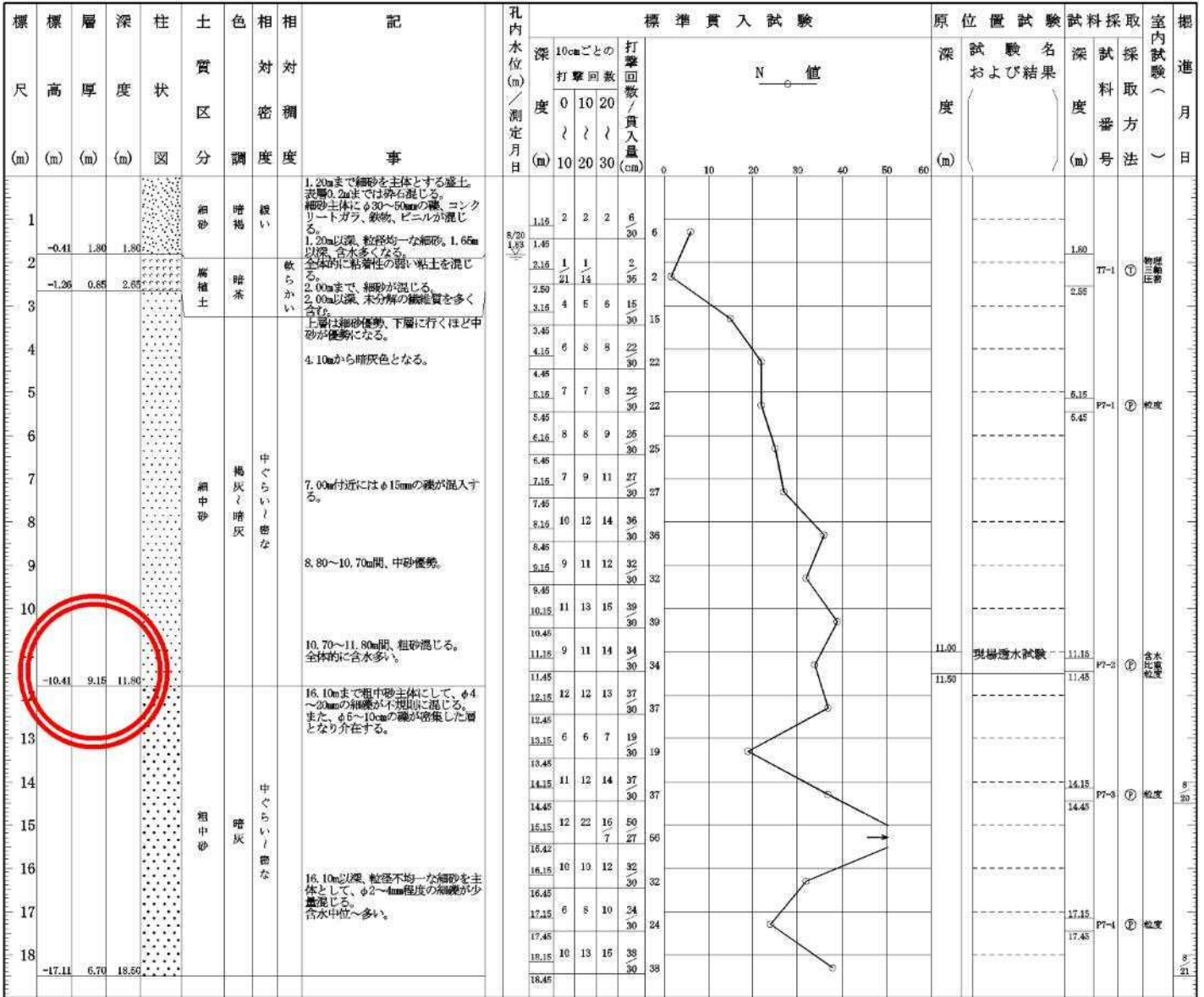
調査名 平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調査委託

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. 7		調査位置	新潟市東区東中島1丁目			北緯	37° 54' 23.13"									
発注機関	新潟市 下水道部 東部地域下水道事務所			調査期間	平成 26年 8月 20日 ~ 26年 8月 26日			東経	139° 6' 35.96"								
調査業者名	株式会社 興和 電話 (025-281-8815)		主任技師	笹川考義			現場代理人	梨本恭平		コシテ	アサヒ						
孔口標高	1.392m	角	180° 上	90°	方	北 0°	270°	90°	東	地盤勾配	鉛直 0°	使用機種	試験機	YBM-05	ハンマー	落下用具	半自動
総掘進長	18.50m	度	下 0°	0°	向	西 180°	0°	東	向	東	0°	エンジン	NS75	ポンプ	V-5	ボーリング責任者	本間進



ボーリング柱状図

調査名 平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質長委託

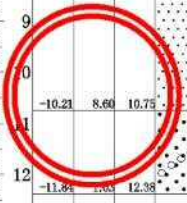
ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. 8		調査位置	新潟市東区東中島2丁目			北緯	37° 54' 26.65"									
発注機関	新潟市 下水道部 東部地域下水道事務所			調査期間	平成 26年 8月 27日 ~ 26年 8月 30日			東経	139° 6' 26.07"								
調査業者名	株式会社 興和 電話 (025-281-8815)		主任技師	笹川 考義		現場代理人	梨本 恭平		コ鑑定者	ア							
ボーリング責任者	眞島 克郎																
孔口標高	0.542m	角	180° 上 90° 下 0°		方	北 0° 270° 西 180° 東 90° 南		地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°		使用機種	試験機	YBM-05		ハンマー落下用具	半自動	
総掘進長	12.38m	度	0°		向	西 180° 東 90° 南		エンジン	NFD-10		ポンプ	V-5					

標尺 (m)	層高 (m)	厚 (m)	深 (m)	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	相対稠度	記	標準貫入試験				原位置試験	試験名および結果	深 (m)	試料採取番号	室内試験方法	掘進月日
											深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)	N 値						
1	-0.91	1.45	1.45		細砂	淡茶	非常に緩い	軟らかい		表層0.05mまでアスファルト敷砂利5cm厚の下は、均一な細砂である。	1.15	2	2	2						
2	-1.61	0.70	2.15		腐植土	暗灰	軟らかい			木分解の繊維質を多く含む。所々に埋木等の混入がある。	1.50	1	1	2						
3										5.15mまで細砂優勢。5.15m以深、中砂優勢。	2.15	17	13	30						
4										3.50m付近まで混入物はなく、均一な細砂。	2.45	5	7	9	21					
5										3.50~6.15m間、所々中砂を薄層状に介在する。	3.15	5	7	9	21					
6										4.00~6.15m間、締りが良い。	3.45	11	12	13	36					
7											4.45	9	11	12	32					
8											5.15	9	11	12	32					
9											5.45	9	10	11	30					
10											6.15	9	10	11	30					
11											7.15	8	10	11	29					
12											7.45	8	10	11	29					
13											8.15	8	10	11	29					
14											8.45	8	10	13	31					
15											9.15	8	10	13	31					
16											10.15	14	18	18	50					
17											10.43	18	19	13	50					
18											11.15	18	19	13	50					
19											11.43	20	22	8	50					
20											12.15	20	22	8	50					
21											12.38	20	22	8	50					



土質試験結果一覧表（基礎地盤）

調査件名 委東下第5号 平成26年度
大石排水区大石2号貯留管他地質調査委託

整理年月日 平成 26年 9月 18日

整理担当者 中野 義仁

試料番号 (深 さ)		P1-1 (1.15~1.50m)	P1-2 (6.15~6.45m)	P1-3 (13.15~13.45m)	P1-4 (19.15~19.45m)
一	湿潤密度 ρ_w g/cm ³				
	乾燥密度 ρ_d g/cm ³				
	土粒子の密度 ρ_s g/cm ³	2.59		2.63	
	自然含水比 w_n %			14.0	
般	間隙比 e				
	飽和度 S_r %				
粒	石分 (75mm以上) %				
	礫分 ¹⁾ (2~75mm) %	0.0	0.0	26.8	0.0
	砂分 ¹⁾ (0.075~2mm) %	77.8	95.9	66.3	92.6
	シルト分 ¹⁾ (0.005~0.075mm) %	11.2		6.9	7.4
	粘土分 ¹⁾ (0.005mm未満) %	11.0	4.1		
	最大粒径 mm	2	2	26.5	2
	均等係数 U_c	88.93	2.10	8.16	2.52
度	曲率係数 U_c	21.53	1.19	0.77	1.14
コンシステンシー特性	液性限界 w_L %				
	塑性限界 w_p %				
	塑性指数 I_p				
分類	地盤材料の分類名	細粒分質砂	分級された砂	細粒分まじり礫質砂	細粒分まじり砂
	分類記号	(SF)	(SP)	(SG-F)	(S-F)
圧密	試験方法				
	圧縮指数 C_c				
	圧密降伏応力 p_c kN/m ²				
一軸圧縮	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²				
	破壊ひずみ ϵ_f %				
	MN/m ² %				
せん断	試験条件				
	全応力	c kN/m ²			
		ϕ °			
	有効応力	c' kN/m ²			
ϕ' °					
透水					

特記事項

P1-3は粒度試験に必要な最小質量を満足しない。

1) 石分を除いた75mm未満の土質材料に対する百分率で表す。

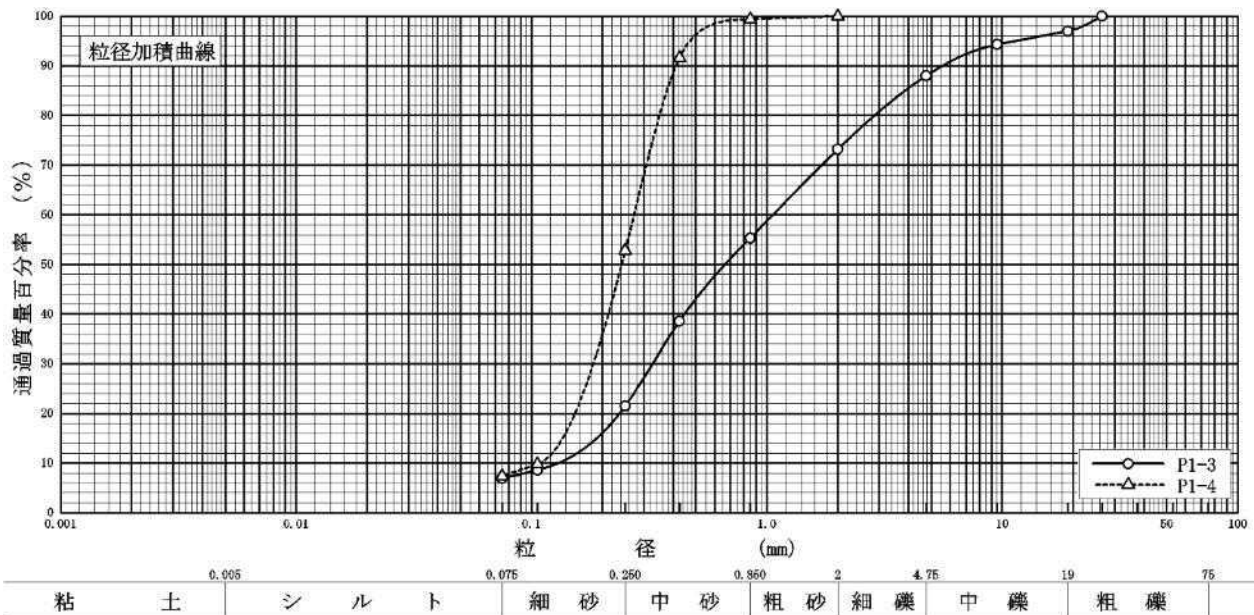
[1kN/m² ≒ 0.102kgf/cm²]

調査件名 委東下第5号 平成26年度
大石排水区大石2号貯留管他地質調査委託

試験年月日 平成 26年 9月 11日

試験者 斎藤 友香

試料番号 (深さ)	P1-3 (13.15~13.45m)		P1-4 (19.15~19.45m)		試料番号 (深さ)	P1-3 (13.15~13.45m)	P1-4 (19.15~19.45m)
	粒径 mm	通過質量百分率%	粒径 mm	通過質量百分率%			
ふる る い 分 析					粗礫分 %	3.0	-
	75		75		中礫分 %	9.0	-
	53		53		細礫分 %	14.8	-
	37.5		37.5		粗砂分 %	17.9	0.6
	26.5	100.0	26.5		中砂分 %	33.8	46.6
	19	97.0	19		細砂分 %	14.6	45.4
	9.5	94.3	9.5		シルト分 %		
	4.75	88.0	4.75		粘土分 %	6.9	7.4
	2	73.2	2	100.0	2mmふるい通過質量百分率 %	73.2	100.0
	0.850	55.3	0.850	99.4	425μmふるい通過質量百分率 %	38.6	91.6
	0.425	38.6	0.425	91.6	75μmふるい通過質量百分率 %	6.9	7.4
	0.250	21.5	0.250	52.8	最大粒径 mm	26.5	2
	0.106	8.6	0.106	9.8	60% 粒径 D_{60} mm	1.0622	0.2726
0.075	6.9	0.075	7.4	50% 粒径 D_{50} mm	0.6642	0.2416	
沈 降 分 析					30% 粒径 D_{30} mm	0.3273	0.1832
					10% 粒径 D_{10} mm	0.1302	0.1083
					均等係数 U_c	8.16	2.52
					曲率係数 U'_c	0.77	1.14
					土粒子の密度 ρ_s g/cm ³	2.63	-
析					使用した分散剤	-	-
					溶液濃度, 溶液添加量		
					20% 粒径 D_{20} mm	0.2364	0.1530



特記事項 P1-3は粒度試験に必要な最小質量を満足しない。

土質試験結果一覧表 (基礎地盤)

調査件名 委東下第5号 平成26年度
大石排水区大石2号貯留管他地質調査委託

整理年月日 平成 26年 9月 29日

整理担当者 中野 義仁

試料番号 (深 さ)		P2-1 (6.15~6.45m)	P2-2 (12.15~12.45m)			
一	湿潤密度 ρ_w g/cm ³					
	乾燥密度 ρ_s g/cm ³					
般	土粒子の密度 ρ_s g/cm ³		2.63			
	自然含水比 w_n %		16.6			
	間隙比 e					
	飽和度 S_r %					
粒	石分 (75mm以上) %					
	礫分 ¹⁾ (2~75mm) %	0.0	30.9			
	砂分 ¹⁾ (0.075~2mm) %	94.9	62.3			
	シルト分 ¹⁾ (0.005~0.075mm) %					
	粘土分 ¹⁾ (0.005mm未満) %	5.1	6.8			
	最大粒径 mm	2	19			
	均等係数 U_c	2.21	6.22			
度	曲率係数 $I'c$	1.21	0.63			
コンシステンシー特性	液性限界 w_L %					
	塑性限界 w_p %					
	塑性指数 I_p					
分類	地盤材料の分類名	細粒分まじり砂	細粒分まじり礫質砂			
	分類記号	(S-F)	(SG-F)			
圧密	試験方法					
	圧縮指数 C_c					
	圧密降伏応力 p_c kN/m ²					
一軸圧縮	一軸圧縮強さ q_c kN/m ²					
	破壊ひずみ ϵ_f %					
	MN/m ² %					
せん断	試験条件					
	全応力	c kN/m ²				
		ϕ °				
	有効応力	c' kN/m ²				
ϕ' °						
透水						

特記事項

P2-2は粒度試験に必要な最小質量を満足しない。

1) 石分を除いた75mm未満の土質材料に対する百分率で表す。

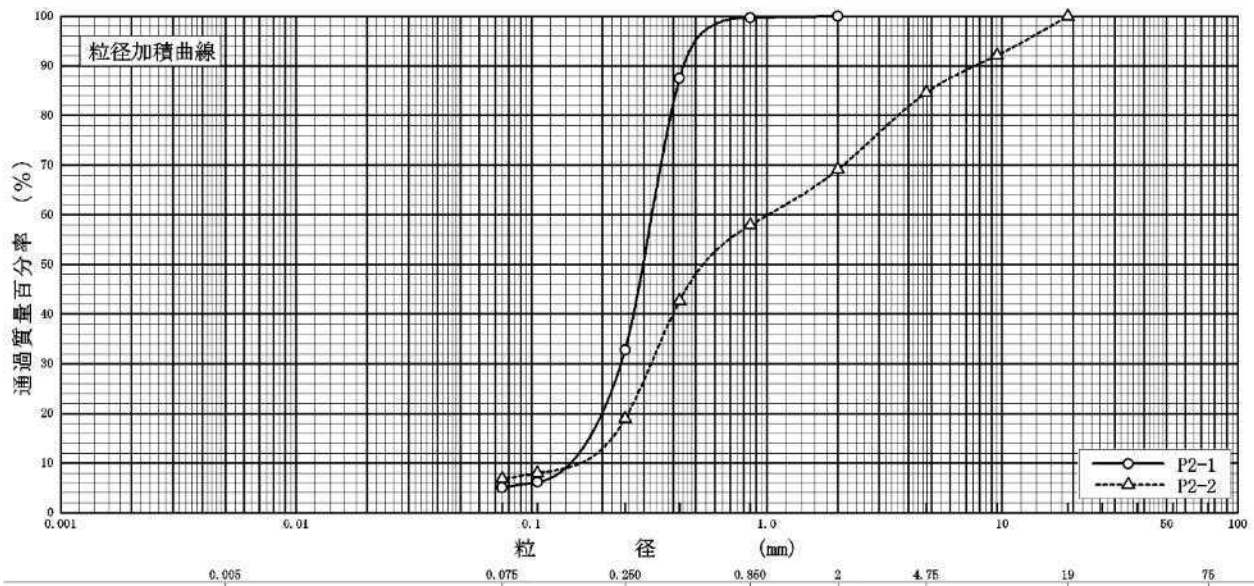
[1kN/m² ≒ 0.102kgf/cm²]

調査件名 委東下第5号 平成26年度
大石排水区大石2号貯留管他地質調査委託

試験年月日 平成 26年 9月 19日

試験者 斎藤 友香

試料番号 (深さ)	P2-1 (6.15~6.45m)		P2-2 (12.15~12.45m)		試料番号 (深さ)	P2-1 (6.15~6.45m)	P2-2 (12.15~12.45m)
	粒径 mm	通過質量百分率%	粒径 mm	通過質量百分率%			
ふるい 分析	75		75		粗礫分 %	-	-
	53		53		中礫分 %	-	15.4
	37.5		37.5		細礫分 %	-	15.5
	26.5		26.5		粗砂分 %	0.3	11.2
	19		19	100.0	中砂分 %	66.9	39.0
	9.5		9.5	92.1	細砂分 %	27.7	12.1
	4.75		4.75	84.6	シルト分 %	5.1	6.8
	2	100.0	2	69.1	粘土分 %		
	0.850	99.7	0.850	57.9	2mmふるい通過質量百分率 %	100.0	69.1
	0.425	87.5	0.425	42.7	425 μ mふるい通過質量百分率 %	87.5	42.7
	0.250	32.8	0.250	18.9	75 μ mふるい通過質量百分率 %	5.1	6.8
	0.106	6.2	0.106	8.0	最大粒径 mm	2	19
	0.075	5.1	0.075	6.8	60% 粒径 D_{60} mm	0.3248	1.0125
沈降 分析					50% 粒径 D_{50} mm	0.2980	0.5356
					30% 粒径 D_{30} mm	0.2399	0.3226
					10% 粒径 D_{10} mm	0.1469	0.1629
					均等係数 U_c	2.21	6.22
					曲率係数 U_c'	1.21	0.63
				土粒子の密度 ρ_s g/cm ³	-	2.63	
				使用した分散剤	-	-	
				溶液濃度, 溶液添加量	-	-	
				20% 粒径 D_{20} mm	0.1994	0.2573	



特記事項 P2-2は粒度試験に必要な最小質量を満足しない。

土質試験結果一覧表（基礎地盤）

調査件名 委東下第5号 平成26年度
大石排水区大石2号貯留管他地質調査委託

整理年月日 平成 26年 9月 29日

整理担当者 中野 義仁

試料番号 (深 さ)		P3-1 (5.15~5.45m)	P3-2 (12.15~12.45m)	P3-3 (16.15~16.45m)		
一般	湿潤密度 ρ_w g/cm ³					
	乾燥密度 ρ_d g/cm ³					
	土粒子の密度 ρ_s g/cm ³		2.63			
	自然含水比 w_n %		12.1			
	間隙比 e					
	飽和度 S_r %					
粒度	石分 (75mm以上) %					
	礫分 ¹⁾ (2~75mm) %	0.0	33.5	11.3		
	砂分 ¹⁾ (0.075~2mm) %	90.5	59.9	82.1		
	シルト分 ¹⁾ (0.005~0.075mm) %					
	粘土分 ¹⁾ (0.005mm未満) %	9.5	6.6	6.6		
	最大粒径 mm	2	26.5	4.75		
	均等係数 U_c	3.72	9.20	2.96		
度	曲率係数 $I'c$	2.04	0.99	1.31		
コンシステンシー特性	液性限界 w_L %					
	塑性限界 w_p %					
	塑性指数 I_p					
分類	地盤材料の分類名	細粒分まじり砂	細粒分まじり礫質砂	細粒分礫まじり砂		
	分類記号	(S-F)	(SG-F)	(S-FG)		
圧密	試験方法					
	圧縮指数 C_c					
	圧密降伏応力 p_c kN/m ²					
一軸圧縮	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²					
	破壊ひずみ ϵ_f %					
	MN/m ² %					
せん断	試験条件					
	全応力	c kN/m ²				
		ϕ °				
	有効応力	c' kN/m ²				
ϕ' °						
透水						

特記事項

P3-2、P3-3は粒度試験に必要な最小質量を満足しない。

1) 石分を除いた75mm未満の土質材料に対する百分率で表す。

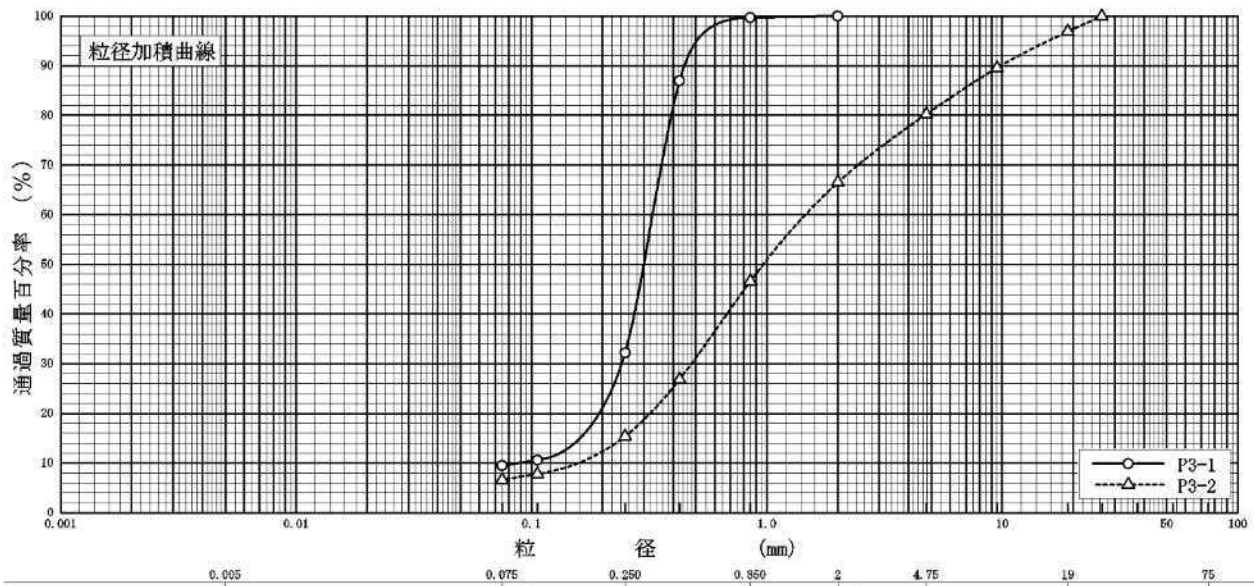
[1kN/m²≒0.0102kgf/cm²]

調査件名 委東下第5号 平成26年度
大石排水区大石2号貯留管他地質調査委託

試験年月日 平成 26年 9月 19日

試験者 斎藤 友香

試料番号 (深さ)	P3-1 (5.15~5.45m)		P3-2 (12.15~12.45m)		試料番号 (深さ)	P3-1 (5.15~5.45m)	P3-2 (12.15~12.45m)
	粒径 mm	通過質量百分率%	粒径 mm	通過質量百分率%		(5.15~5.45m)	(12.15~12.45m)
ふる る い 分 析	75		75		粗礫分 %	-	3.1
	53		53		中礫分 %	-	16.7
	37.5		37.5		細礫分 %	-	13.7
	26.5		26.5	100.0	粗砂分 %	0.3	19.9
	19		19	96.9	中砂分 %	67.5	31.2
	9.5		9.5	89.6	細砂分 %	22.7	8.8
	4.75		4.75	80.2	シルト分 %	9.5	6.6
	2	100.0	2	66.5	粘土分 %		
	0.850	99.7	0.850	46.6	2mmふるい通過質量百分率 %	100.0	66.5
	0.425	87.0	0.425	26.8	425μmふるい通過質量百分率 %	87.0	26.8
	0.250	32.2	0.250	15.4	75μmふるい通過質量百分率 %	9.5	6.6
	0.106	10.6	0.106	7.8	最大粒径 mm	2	26.5
	0.075	9.5	0.075	6.6	60% 粒径 D_{60} mm	0.3268	1.4579
沈 降 分 析					50% 粒径 D_{50} mm	0.3000	0.9650
					30% 粒径 D_{30} mm	0.2417	0.4786
					10% 粒径 D_{10} mm	0.0878	0.1584
					均等係数 U_c	3.72	9.20
					曲率係数 U_c'	2.04	0.99
				土粒子の密度 ρ_s g/cm ³	-	2.63	
				使用した分散剤	-	-	
				溶液濃度, 溶液添加量			
				20% 粒径 D_{20} mm	0.1938	0.3194	



粘土 シルト 細砂 中砂 粗砂 細礫 中礫 粗礫

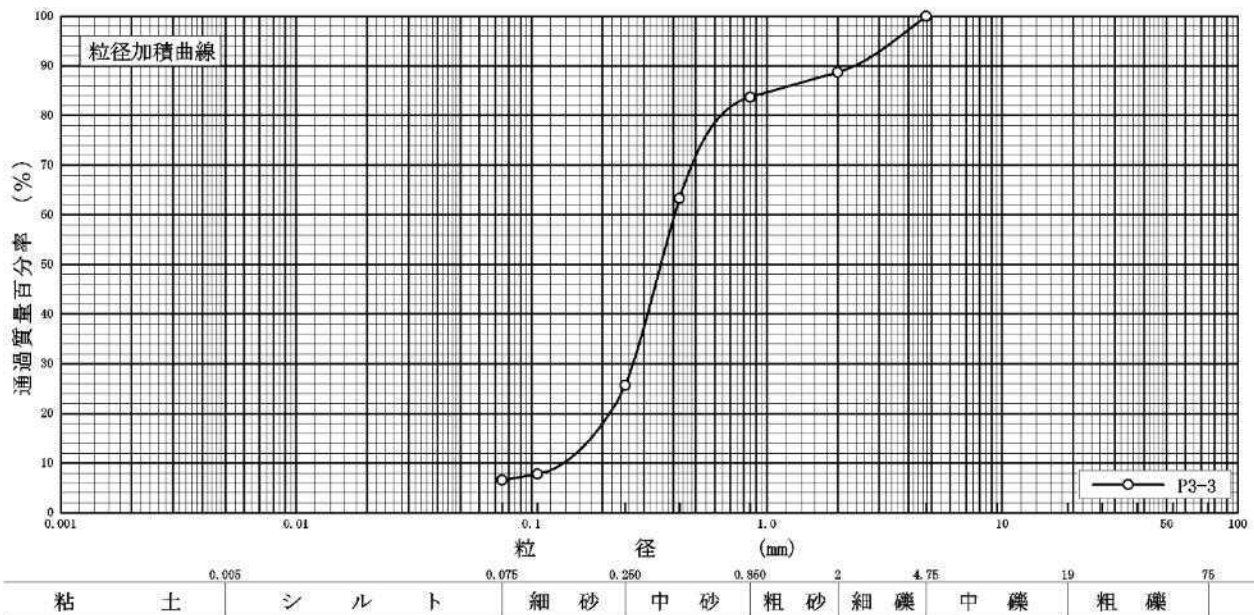
特記事項 P3-2は粒度試験に必要な最小質量を満足しない。

調査件名 委東下第5号 平成26年度
大石排水区大石2号貯留管他地質調査委託

試験年月日 平成 26年 9月 19日

試験者 斎藤 友香

試料番号 (深さ)	P3-3 (16.15~16.45m)		試料番号 (深さ)		P3-3 (16.15~16.45m)	
	粒径 mm	通過質量百分率%	粒径 mm	通過質量百分率%	粗礫分 %	-
ふるい 分析	75		75		中礫分 %	-
	53		53		細礫分 %	11.3
	37.5		37.5		粗砂分 %	5.0
	26.5		26.5		中砂分 %	58.0
	19		19		細砂分 %	19.1
	9.5		9.5		シルト分 %	
	4.75	100.0	4.75		粘土分 %	6.6
	2	88.7	2		2mmふるい通過質量百分率 %	88.7
	0.850	83.7	0.850		425 μ mふるい通過質量百分率 %	63.3
	0.425	63.3	0.425		75 μ mふるい通過質量百分率 %	6.6
	0.250	25.7	0.250		最大粒径 mm	4.75
	0.106	7.8	0.106		60% 粒径 D_{60} mm	0.4055
	0.075	6.6	0.075		50% 粒径 D_{50} mm	0.3544
沈降 分析					30% 粒径 D_{30} mm	0.2698
					10% 粒径 D_{10} mm	0.1369
					均等係数 U_c	2.96
					曲率係数 U'_c	1.31
					土粒子の密度 ρ_s g/cm ³	-
析					使用した分散剤	-
					溶液濃度, 溶液添加量	-
					20% 粒径 D_{20} mm	0.2149



特記事項 P3-3は粒度試験に必要な最小質量を満足しない。

土質試験結果一覧表 (基礎地盤)

調査件名 委東下第5号 平成26年度
大石排水区大石2号貯留管他地質調査委託

整理年月日 平成 26年 9月 29日

整理担当者 中野 義仁

試料番号 (深 さ)		P4-1 (4.15~4.45m)	P4-2 (9.15~9.45m)	P4-3 (11.15~11.40m)	P4-4 (15.15~15.45m)		
一般	湿潤密度 ρ_w g/cm ³						
	乾燥密度 ρ_d g/cm ³						
	土粒子の密度 ρ_s g/cm ³			2.64			
	自然含水比 w_n %			16.5			
	間隙比 e						
	飽和度 S_r %						
粒度	石分 (75mm以上) %						
	礫分 ¹⁾ (2~75mm) %	0.0	0.0	2.8	4.2		
	砂分 ¹⁾ (0.075~2mm) %	95.4	93.7	89.2	89.8		
	シルト分 ¹⁾ (0.005~0.075mm) %						
	粘土分 ¹⁾ (0.005mm未満) %	4.6	6.3	8.0	6.0		
	最大粒径 mm	2	2	9.5	4.75		
	均等係数 U_c	2.23	2.42	5.58	2.65		
度	曲率係数 $I'c$	1.14	1.20	1.73	1.21		
コンシステンシー特性	液性限界 w_L %						
	塑性限界 w_p %						
	塑性指数 I_p						
分類	地盤材料の分類名	分級された砂	細粒分まじり砂	細粒分まじり砂	細粒分まじり砂		
	分類記号	(SP)	(S-F)	(S-F)	(S-F)		
圧密	試験方法						
	圧縮指数 C_c						
	圧密降伏応力 p_c kN/m ²						
一軸圧縮	一軸圧縮強さ q_c kN/m ²						
	破壊ひずみ ϵ_f %						
	MN/m ² %						
せん断	試験条件						
	全応力 c kN/m ²						
	有効応力 c' kN/m ²						
透水	ϕ °						
	ϕ' °						

特記事項

1) 石分を除いた75mm未満の土質材料に対する百分率で表す。

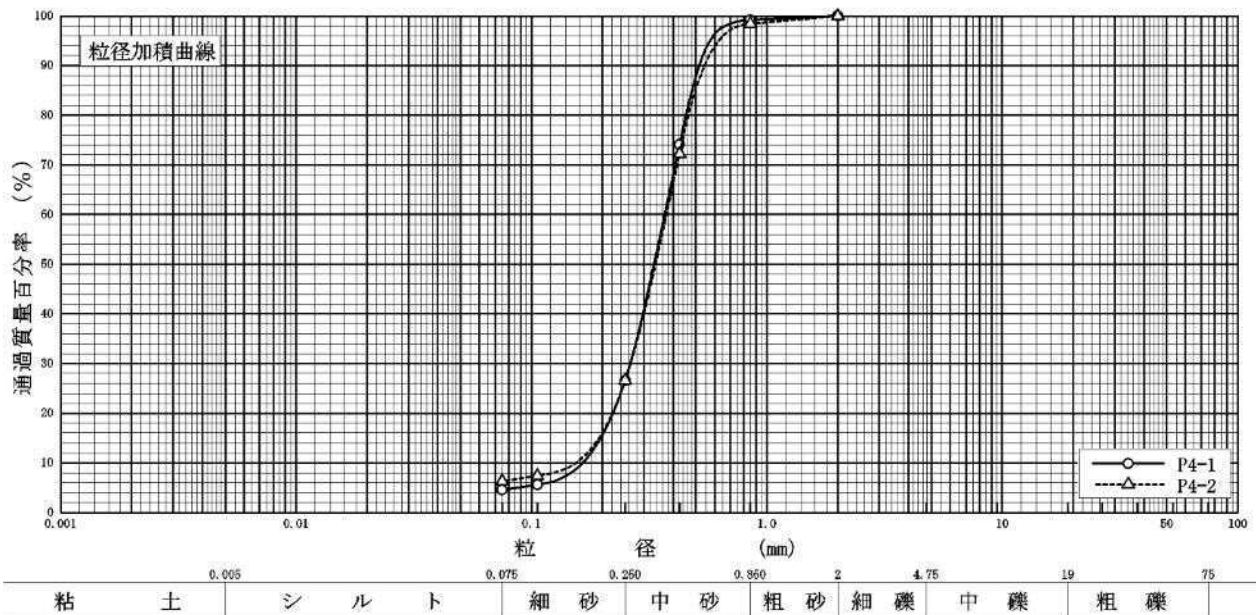
[1kN/m² ≒ 0.102kgf/cm²]

調査件名 委東下第5号 平成26年度
大石排水区大石2号貯留管他地質調査委託

試験年月日 平成 26年 9月 19日

試験者 斎藤 友香

試料番号 (深さ)	P4-1 (4.15~4.45m)		P4-2 (9.15~9.45m)		試料番号 (深さ)	P4-1 (4.15~4.45m)	P4-2 (9.15~9.45m)
	粒径 mm	通過質量百分率%	粒径 mm	通過質量百分率%			
ふるい 分 析	75		75		粗礫分 %	-	-
	53		53		中礫分 %	-	-
	37.5		37.5		細礫分 %	-	-
	26.5		26.5		粗砂分 %	0.8	1.6
	19		19		中砂分 %	72.6	71.8
	9.5		9.5		細砂分 %	22.0	20.3
	4.75		4.75		シルト分 %	4.6	6.3
	2	100.0	2	100.0	粘土分 %		
	0.850	99.2	0.850	98.4	2mmふるい通過質量百分率 %	100.0	100.0
	0.425	74.1	0.425	72.2	425 μ mふるい通過質量百分率 %	74.1	72.2
	0.250	26.6	0.250	26.6	75 μ mふるい通過質量百分率 %	4.6	6.3
	0.106	5.6	0.106	7.4	最大粒径 mm	2	2
	0.075	4.6	0.075	6.3	60% 粒径 D_{60} mm	0.3677	0.3741
沈 降 分 析					50% 粒径 D_{50} mm	0.3317	0.3362
					30% 粒径 D_{30} mm	0.2625	0.2632
					10% 粒径 D_{10} mm	0.1648	0.1544
					均等係数 U_c	2.23	2.42
					曲率係数 U_c'	1.14	1.20
分 析					土粒子の密度 ρ_s g/cm ³	-	-
					使用した分散剤	-	-
					溶液濃度, 溶液添加量	-	-
					20% 粒径 D_{20} mm	0.2221	0.2207



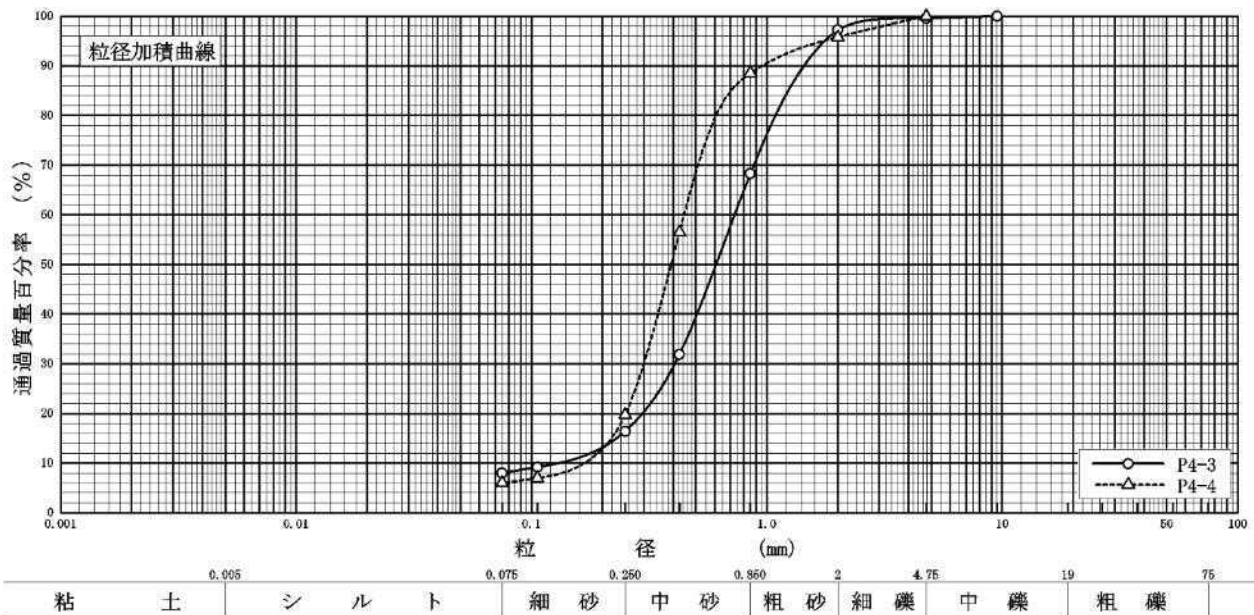
特記事項

調査件名 委東下第5号 平成26年度
大石排水区大石2号貯留管他地質調査委託

試験年月日 平成 26年 9月 19日

試験者 斎藤 友香

試料番号 (深さ)	P4-3 (11.15~11.40m)		P4-4 (15.15~15.45m)		試料番号 (深さ)	P4-3 (11.15~11.40m)	P4-4 (15.15~15.45m)
	粒径 mm	通過質量百分率%	粒径 mm	通過質量百分率%		-	-
ふるい 分析	75		75		粗礫分 %	0.4	-
	53		53		細礫分 %	2.4	4.2
	37.5		37.5		粗砂分 %	28.9	7.3
	26.5		26.5		中砂分 %	51.9	68.8
	19		19		細砂分 %	8.4	13.7
	9.5	100.0	9.5		シルト分 %	8.0	6.0
	4.75	99.6	4.75	100.0	粘土分 %		
	2	97.2	2	95.8	2mmふるい通過質量百分率 %	97.2	95.8
	0.850	68.3	0.850	88.5	425 μ mふるい通過質量百分率 %	31.9	56.5
	0.425	31.9	0.425	56.5	75 μ mふるい通過質量百分率 %	8.0	6.0
	0.250	16.4	0.250	19.7	最大粒径 mm	9.5	4.75
	0.106	9.2	0.106	7.0	60% 粒径 D_{60} mm	0.7292	0.4450
	0.075	8.0	0.075	6.0	50% 粒径 D_{50} mm	0.6089	0.3916
沈降 分析					30% 粒径 D_{30} mm	0.4057	0.2999
					10% 粒径 D_{10} mm	0.1307	0.1677
					均等係数 U_c	5.58	2.65
					曲率係数 U'_c	1.73	1.21
					土粒子の密度 ρ_s g/cm ³	2.64	-
析					使用した分散剤	-	-
					溶液濃度, 溶液添加量 20% 粒径 D_{20} mm	0.2963	0.2516



特記事項

土質試験結果一覧表（基礎地盤）

調査件名 委東下第5号 平成26年度
大石排水区大石2号貯留管他地質調査委託

整理年月日 平成 26年 9月 29日

整理担当者 中野 義仁

試料番号 (深 さ)		P5-1 (4.15~4.45m)	P5-2 (7.15~7.45m)	P5-3 (11.15~11.45m)	P5-4 (15.15~15.45m)		
一般	湿潤密度 ρ_w g/cm ³						
	乾燥密度 ρ_d g/cm ³						
	土粒子の密度 ρ_s g/cm ³			2.68			
	自然含水比 w_n %			15.9			
	間隙比 e						
	飽和度 S_r %						
粒	石分 (75mm以上) %						
	礫分 ¹⁾ (2~75mm) %	0.0	0.0	1.8	0.0		
	砂分 ¹⁾ (0.075~2mm) %	95.0	94.3	90.7	91.6		
	シルト分 ¹⁾ (0.005~0.075mm) %						
	粘土分 ¹⁾ (0.005mm未満) %	5.0	5.7	7.5	8.4		
	最大粒径 mm	2	2	4.75	2		
	均等係数 U_c	2.30	2.92	4.64	3.16		
度	曲率係数 $I'c$	1.12	1.32	1.81	1.63		
コンシステンシー特性	液性限界 w_L %						
	塑性限界 w_p %						
	塑性指数 I_p						
分類	地盤材料の分類名	細粒分まじり砂	細粒分まじり砂	細粒分まじり砂	細粒分まじり砂		
	分類記号	(S-F)	(S-F)	(S-F)	(S-F)		
圧密	試験方法						
	圧縮指数 C_c						
	圧密降伏応力 p_c kN/m ²						
一軸圧縮	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²						
	破壊ひずみ ϵ_f %						
	MN/m ² %						
せん断	試験条件						
	全応力 c kN/m ²						
	有効応力 c' kN/m ²						
透水	ϕ °						
	ϕ' °						

特記事項

1) 石分を除いた75mm未満の土質材料に対する百分率で表す。

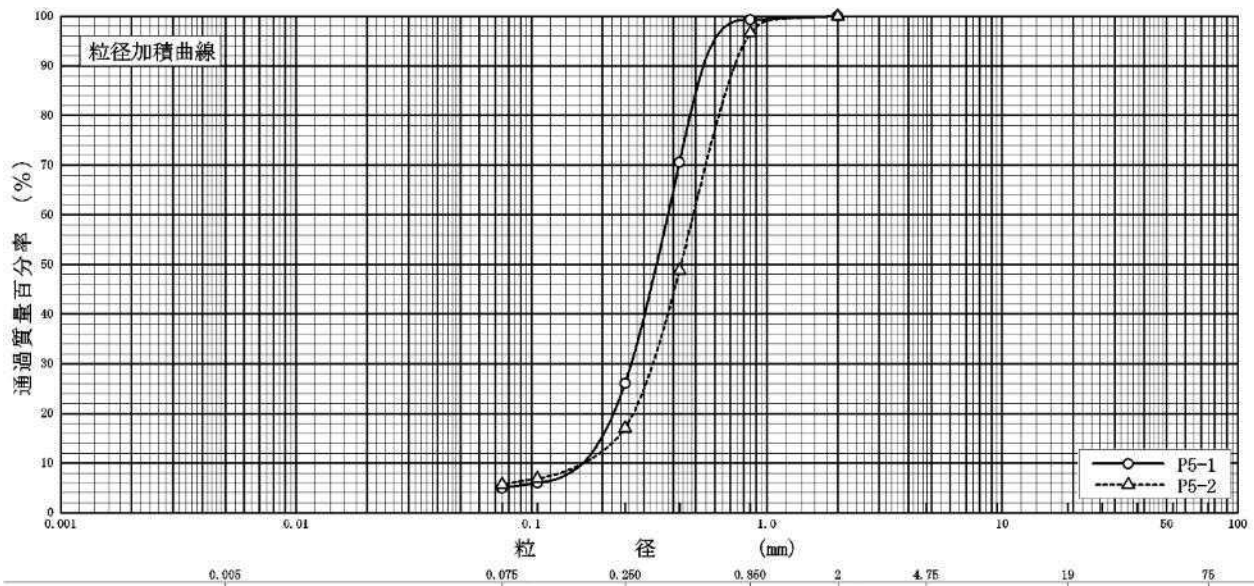
[1kN/m² ≒ 0.102kgf/cm²]

調査件名 委東下第5号 平成26年度
大石排水区大石2号貯留管他地質調査委託

試験年月日 平成 26年 9月 19日

試験者 斎藤 友香

試料番号 (深さ)	P5-1 (4.15~4.45m)		P5-2 (7.15~7.45m)		試料番号 (深さ)	P5-1 (4.15~4.45m)	P5-2 (7.15~7.45m)
	粒径 mm	通過質量百分率%	粒径 mm	通過質量百分率%			
ふるい 分析	75		75		粗礫分 %	-	-
	53		53		中礫分 %	-	-
	37.5		37.5		細礫分 %	-	-
	26.5		26.5		粗砂分 %	0.7	3.4
	19		19		中砂分 %	73.2	79.5
	9.5		9.5		細砂分 %	21.1	11.4
	4.75		4.75		シルト分 %	5.0	5.7
	2	100.0	2	100.0	粘土分 %		
	0.850	99.3	0.850	96.6	2mmふるい通過質量百分率 %	100.0	100.0
	0.425	70.6	0.425	48.8	425 μ mふるい通過質量百分率 %	70.6	48.8
	0.250	26.1	0.250	17.1	75 μ mふるい通過質量百分率 %	5.0	5.7
	0.106	6.0	0.106	6.9	最大粒径 mm	2	2
	0.075	5.0	0.075	5.7	60% 粒径 D_{60} mm	0.3796	0.4868
沈降 分析					50% 粒径 D_{50} mm	0.3402	0.4314
					30% 粒径 D_{30} mm	0.2653	0.3276
					10% 粒径 D_{10} mm	0.1649	0.1668
					均等係数 U_c	2.30	2.92
					曲率係数 U_c'	1.12	1.32
				土粒子の密度 ρ_s g/cm ³	-	-	
				使用した分散剤	-	-	
				溶液濃度, 溶液添加量	-	-	
				20% 粒径 D_{20} mm	0.2235	0.2705	



粘土	シルト	細砂	中砂	粗砂	細礫	中礫	粗礫
----	-----	----	----	----	----	----	----

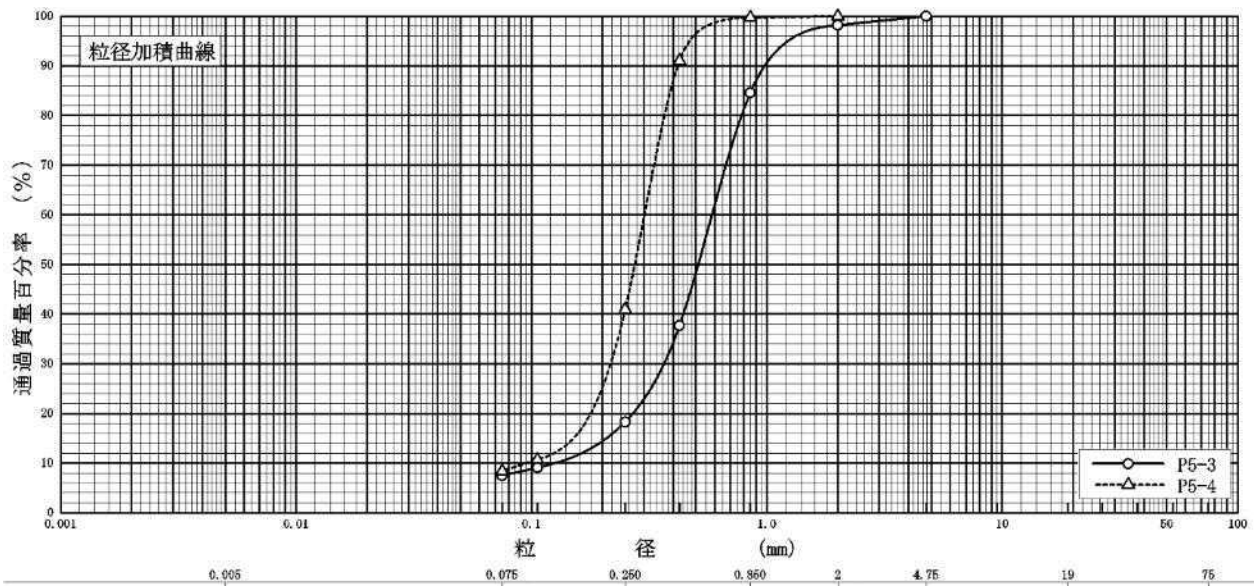
特記事項

調査件名 委東下第5号 平成26年度
大石排水区大石2号貯留管他地質調査委託

試験年月日 平成 26年 9月 19日

試験者 斎藤 友香

試料番号 (深さ)	P5-3 (11.15~11.45m)		P5-4 (15.15~15.45m)		試料番号 (深さ)	P5-3 (11.15~11.45m)	P5-4 (15.15~15.45m)
	粒径 mm	通過質量百分率%	粒径 mm	通過質量百分率%			
ふるい 分析	75		75		粗礫分 %	-	-
	53		53		中礫分 %	-	-
	37.5		37.5		細礫分 %	1.8	-
	26.5		26.5		粗砂分 %	13.6	0.3
	19		19		中砂分 %	66.3	58.8
	9.5		9.5		細砂分 %	10.8	32.5
	4.75	100.0	4.75		シルト分 %	7.5	8.4
	2	98.2	2	100.0	粘土分 %		
	0.850	84.6	0.850	99.7	2mmふるい通過質量百分率 %	98.2	100.0
	0.425	37.7	0.425	91.0	425 μ mふるい通過質量百分率 %	37.7	91.0
	0.250	18.3	0.250	40.9	75 μ mふるい通過質量百分率 %	7.5	8.4
	0.106	9.1	0.106	10.7	最大粒径 mm	4.75	2
	0.075	7.5	0.075	8.4	60% 粒径 D_{60} mm	0.5849	0.3019
沈降 分析					50% 粒径 D_{50} mm	0.5110	0.2747
					30% 粒径 D_{30} mm	0.3654	0.2169
					10% 粒径 D_{10} mm	0.1261	0.0955
					均等係数 U_c	4.64	3.16
					曲率係数 U_c'	1.81	1.63
				土粒子の密度 ρ_s g/cm ³	2.68	-	
				使用した分散剤	-	-	
				溶液濃度, 溶液添加量			
				20% 粒径 D_{20} mm	0.2695	0.1784	



特記事項

土質試験結果一覧表（基礎地盤）

調査件名 委東下第5号 平成26年度
大石排水区大石2号貯留管他地質調査委託

整理年月日 平成 26年 9月 29日

整理担当者 中野 義仁

試料番号 (深 さ)		P6-1 (7.15~7.45m)	P6-2 (12.15~12.41m)			
一	湿潤密度 ρ_t g/cm ³					
	乾燥密度 ρ_d g/cm ³					
般	土粒子の密度 ρ_s g/cm ³		2.66			
	自然含水比 w_n %		12.4			
	間隙比 e					
	飽和度 S_r %					
粒	石分 (75mm以上) %					
	礫分 ¹⁾ (2~75mm) %	0.0	27.3			
	砂分 ¹⁾ (0.075~2mm) %	94.0	66.4			
	シルト分 ¹⁾ (0.005~0.075mm) %	6.0	6.3			
	粘土分 ¹⁾ (0.005mm未満) %					
	最大粒径 mm	2	19			
	均等係数 U_c	3.14	5.63			
度	曲率係数 U_c	1.60	1.38			
コンシステンシー特性	液性限界 w_L %					
	塑性限界 w_p %					
	塑性指数 I_p					
分類	地盤材料の分類名	細粒分まじり砂	細粒分まじり礫質砂			
	分類記号	(S-F)	(SG-F)			
圧密	試験方法					
	圧縮指数 C_c					
	圧密降伏応力 p_c kN/m ²					
一軸圧縮	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²					
	破壊ひずみ ϵ_r %					
	MN/m ² %					
せん断	試験条件					
	全応力	c kN/m ²				
		ϕ °				
	有効応力	c' kN/m ²				
ϕ' °						
透水						

特記事項

P6-2は粒度試験に必要な最小質量を満足しない。

1) 石分を除いた75mm未満の土質材料に対する百分率で表す。

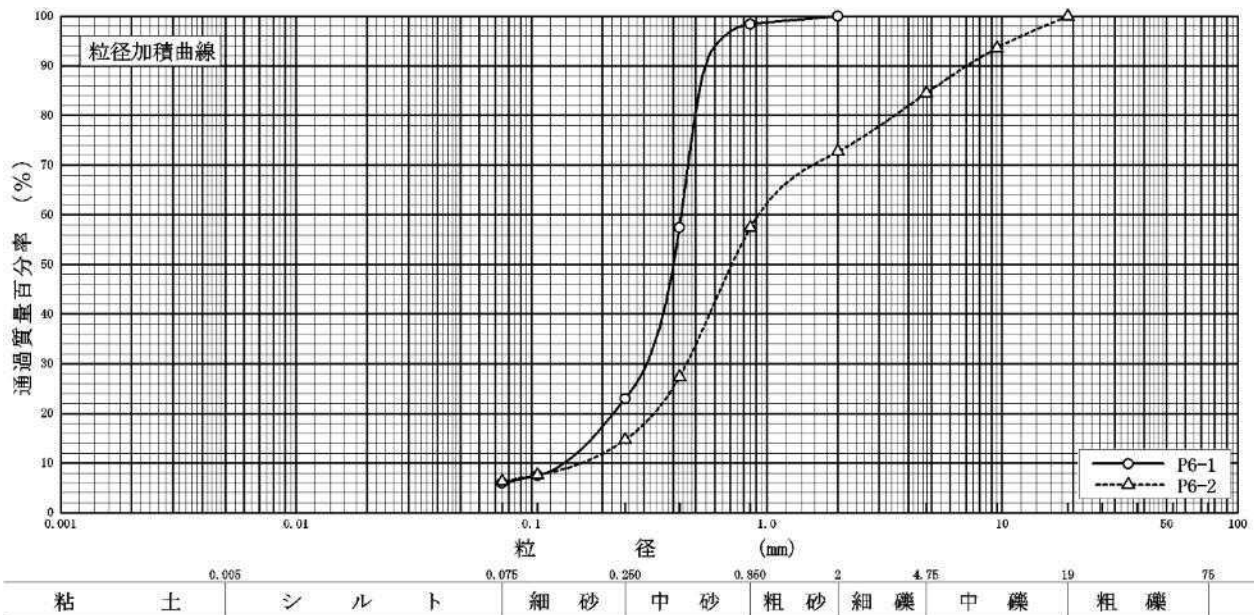
[1kN/m²≒0.0102kgf/cm²]

調査件名 委東下第5号 平成26年度
大石排水区大石2号貯留管他地質調査委託

試験年月日 平成 26年 9月 19日

試験者 斎藤 友香

試料番号 (深さ)	P6-1 (7.15~7.45m)		P6-2 (12.15~12.41m)		試料番号 (深さ)	P6-1 (7.15~7.45m)	P6-2 (12.15~12.41m)
	粒径 mm	通過質量百分率%	粒径 mm	通過質量百分率%		粗礫分 %	中礫分 %
ふるい 分析	75		75		粗礫分 %	-	-
	53		53		中礫分 %	-	15.5
	37.5		37.5		細礫分 %	-	11.8
	26.5		26.5		粗砂分 %	1.6	15.3
	19		19	100.0	中砂分 %	75.4	42.7
	9.5		9.5	93.6	細砂分 %	17.0	8.4
	4.75		4.75	84.5	シルト分 %	6.0	6.3
	2	100.0	2	72.7	粘土分 %		
	0.850	98.4	0.850	57.4	2mmふるい通過質量百分率 %	100.0	72.7
	0.425	57.4	0.425	27.3	425 μ mふるい通過質量百分率 %	57.4	27.3
	0.250	23.0	0.250	14.7	75 μ mふるい通過質量百分率 %	6.0	6.3
	0.106	7.5	0.106	7.6	最大粒径 mm	2	19
	0.075	6.0	0.075	6.3	60% 粒径 D_{60} mm	0.4328	0.9201
沈降 分析					50% 粒径 D_{50} mm	0.4009	0.7095
					30% 粒径 D_{30} mm	0.3088	0.4557
					10% 粒径 D_{10} mm	0.1380	0.1634
					均等係数 U_c	3.14	5.63
					曲率係数 U_c'	1.60	1.38
				土粒子の密度 ρ_s g/cm ³	-	2.66	
				使用した分散剤	-	-	
				溶液濃度, 溶液添加量	-	-	
				20% 粒径 D_{20} mm	0.2229	0.3320	



特記事項 P6-2は粒度試験に必要な最小質量を満足しない。

土質試験結果一覧表 (基礎地盤)

調査件名 委東下第5号 平成26年度
大石排水区大石2号貯留管他地質調査委託

整理年月日 平成 26年 9月 18日

整理担当者 中野 義仁

試料番号 (深 さ)		P7-1 (5.15~5.45m)	P7-2 (11.15~11.45m)	P7-3 (14.15~14.45m)	P7-4 (17.15~17.45m)		
一般	湿潤密度 ρ_w g/cm ³						
	乾燥密度 ρ_d g/cm ³						
	土粒子の密度 ρ_s g/cm ³		2.69				
	自然含水比 w_n %		19.2				
	間隙比 e						
	飽和度 S_r %						
粒度	石分 (75mm以上) %						
	礫分 ¹⁾ (2~75mm) %	0.0	0.0	28.2	3.0		
	砂分 ¹⁾ (0.075~2mm) %	96.7	96.2	64.6	91.7		
	シルト分 ¹⁾ (0.005~0.075mm) %	3.3	3.8	7.2	5.3		
	粘土分 ¹⁾ (0.005mm未満) %						
	最大粒径 mm	2	2	19	4.75		
	均等係数 U_c	2.00	2.87	7.57	2.56		
度	曲率係数 U_c	1.11	1.33	1.25	1.17		
コンシステンシー特性	液性限界 w_L %						
	塑性限界 w_p %						
	塑性指数 I_p						
分類	地盤材料の分類名	分級された砂	分級された砂	細粒分まじり礫質砂	細粒分まじり砂		
	分類記号	(SP)	(SP)	(SG-F)	(S-F)		
圧密	試験方法						
	圧縮指数 C_c						
	圧密降伏応力 p_c kN/m ²						
一軸圧縮	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²						
	破壊ひずみ ϵ_f %						
	MN/m ² %						
せん断	試験条件						
	全応力	c kN/m ²					
		ϕ °					
	有効応力	c' kN/m ²					
ϕ' °							
透水							

特記事項

P7-3は粒度試験に必要な最小質量を満足しない。

1) 石分を除いた75mm未満の土質材料に対する百分率で表す。

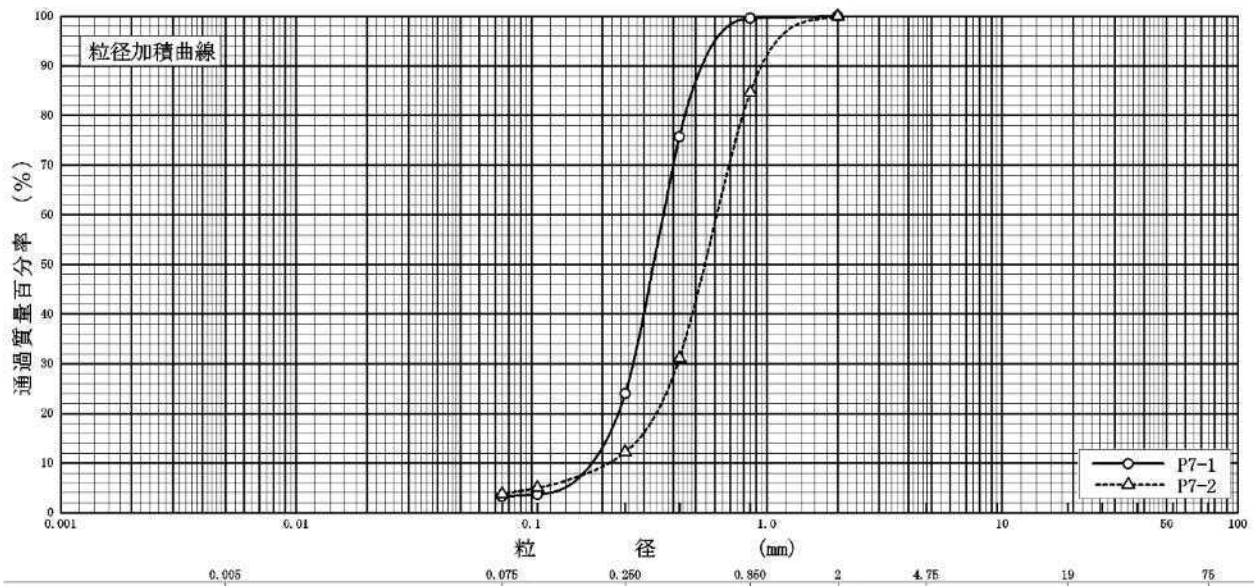
[1kN/m² ≒ 0.102kgf/cm²]

調査件名 委東下第5号 平成26年度
大石排水区大石2号貯留管他地質調査委託

試験年月日 平成 26年 9月 11日

試験者 斎藤 友香

試料番号 (深さ)	P7-1 (5.15~5.45m)		P7-2 (11.15~11.45m)		試料番号 (深さ)	P7-1 (5.15~5.45m)	P7-2 (11.15~11.45m)
	粒径 mm	通過質量百分率%	粒径 mm	通過質量百分率%			
ふる る い 分 析	75		75		粗礫分 %	-	-
	53		53		中礫分 %	-	-
	37.5		37.5		細礫分 %	-	-
	26.5		26.5		粗砂分 %	0.4	15.3
	19		19		中砂分 %	75.6	72.5
	9.5		9.5		細砂分 %	20.7	8.4
	4.75		4.75		シルト分 %	3.3	3.8
	2	100.0	2	100.0	粘土分 %		
	0.850	99.6	0.850	84.7	2mmふるい通過質量百分率 %	100.0	100.0
	0.425	75.7	0.425	31.1	425μmふるい通過質量百分率 %	75.7	31.1
	0.250	24.0	0.250	12.2	75μmふるい通過質量百分率 %	3.3	3.8
	0.106	3.7	0.106	5.0	最大粒径 mm	2	2
	0.075	3.3	0.075	3.8	60% 粒径 D_{60} mm	0.3624	0.6124
沈 降 分 析					50% 粒径 D_{50} mm	0.3301	0.5449
					30% 粒径 D_{30} mm	0.2701	0.4173
					10% 粒径 D_{10} mm	0.1810	0.2137
					均等係数 U_c	2.00	2.87
					曲率係数 U_c'	1.11	1.33
				土粒子の密度 ρ_s g/cm ³	-	2.69	
				使用した分散剤	-	-	
				溶液濃度, 溶液添加量	-	-	
				20% 粒径 D_{20} mm	0.2339	0.3393	



粘土	シルト	細砂	中砂	粗砂	細礫	中礫	粗礫
----	-----	----	----	----	----	----	----

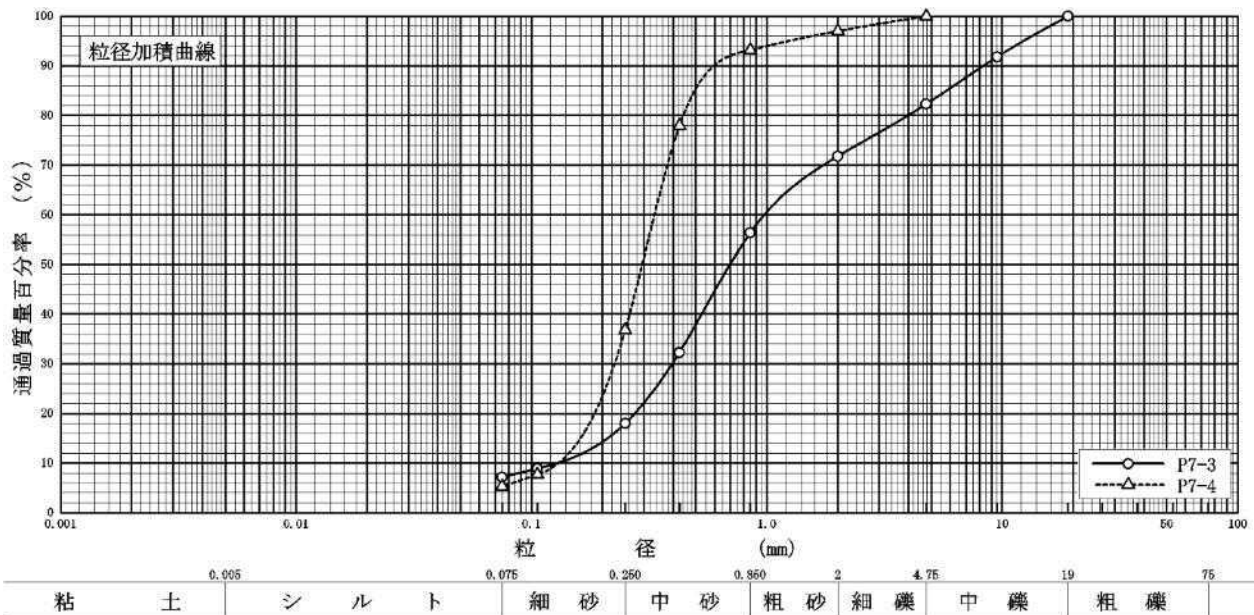
特記事項

調査件名 委東下第5号 平成26年度
大石排水区大石2号貯留管他地質調査委託

試験年月日 平成 26年 9月 11日

試験者 斎藤 友香

試料番号 (深さ)	P7-3 (14.15~14.45m)		P7-4 (17.15~17.45m)		試料番号 (深さ)	P7-3 (14.15~14.45m)	P7-4 (17.15~17.45m)
	粒径 mm	通過質量百分率%	粒径 mm	通過質量百分率%		-	-
ふる る い 分 析	75		75		粗礫分 %	17.7	-
	53		53		細礫分 %	10.5	3.0
	37.5		37.5		粗砂分 %	15.4	3.8
	26.5		26.5		中砂分 %	38.4	56.4
	19	100.0	19		細砂分 %	10.8	31.5
	9.5	91.8	9.5		シルト分 %	7.2	5.3
	4.75	82.3	4.75	100.0	粘土分 %		
	2	71.8	2	97.0	2mmふるい通過質量百分率 %	71.8	97.0
	0.850	56.4	0.850	93.2	425 μ mふるい通過質量百分率 %	32.3	78.0
	0.425	32.3	0.425	78.0	75 μ mふるい通過質量百分率 %	7.2	5.3
	0.250	18.0	0.250	36.8	最大粒径 mm	19	4.75
	0.106	8.9	0.106	7.7	60% 粒径 D_{60} mm	0.9771	0.3328
	0.075	7.2	0.075	5.3	50% 粒径 D_{50} mm	0.6971	0.2956
沈 降 分 析					30% 粒径 D_{30} mm	0.3964	0.2255
					10% 粒径 D_{10} mm	0.1291	0.1301
					均等係数 U_c	7.57	2.56
					曲率係数 U_c'	1.25	1.17
				土粒子の密度 ρ_s g/cm ³	-	-	
				使用した分散剤	-	-	
				溶液濃度, 溶液添加量	-	-	
				20% 粒径 D_{20} mm	0.2748	0.1854	



特記事項 P7-3は粒度試験に必要な最小質量を満足しない。

土質試験結果一覧表 (基礎地盤)

調査件名 委東下第5号 平成26年度
大石排水区大石2号貯留管他地質調査委託

整理年月日 平成 26年 9月 29日

整理担当者 中野 義仁

試料番号 (深 さ)		P8-1 (3.15~3.45m)	P8-2 (7.15~7.45m)	P8-3 (11.15~11.42m)		
一般	湿潤密度 ρ_w g/cm ³					
	乾燥密度 ρ_d g/cm ³					
	土粒子の密度 ρ_s g/cm ³		2.73			
	自然含水比 w_n %		20.8			
	間隙比 e					
	飽和度 S_r %					
粒度	石分 (75mm以上) %					
	礫分 ¹⁾ (2~75mm) %	0.0	0.0	29.5		
	砂分 ¹⁾ (0.075~2mm) %	95.3	95.5	63.9		
	シルト分 ¹⁾ (0.005~0.075mm) %					
	粘土分 ¹⁾ (0.005mm未満) %	4.7	4.5	6.6		
	最大粒径 mm	2	2	19		
	均等係数 U_c	2.18	2.22	6.43		
度	曲率係数 $I'c$	1.13	1.14	1.25		
コンシステンシー特性	液性限界 w_L %					
	塑性限界 w_p %					
	塑性指数 I_p					
分類	地盤材料の分類名	分級された砂	分級された砂	細粒分まじり礫質砂		
	分類記号	(SP)	(SP)	(SG-F)		
圧密	試験方法					
	圧縮指数 C_c					
	圧密降伏応力 p_c kN/m ²					
一軸圧縮	一軸圧縮強さ q_c kN/m ²					
	破壊ひずみ ϵ_f %					
	MN/m ² %					
せん断	試験条件					
	全応力	c kN/m ²				
		ϕ °				
	有効応力	c' kN/m ²				
ϕ' °						
透水						

特記事項

P8-3は粒度試験に必要な最小質量を満足しない。

1) 石分を除いた75mm未満の土質材料に対する百分率で表す。

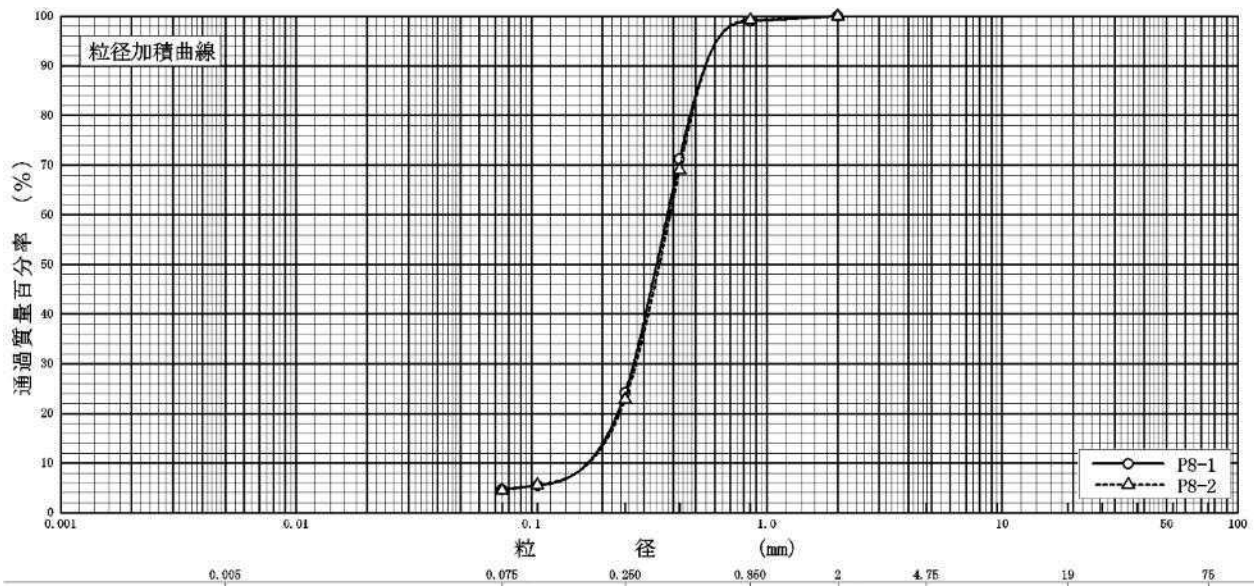
[1kN/m² ≒ 0.102kgf/cm²]

調査件名 委東下第5号 平成26年度
大石排水区大石2号貯留管他地質調査委託

試験年月日 平成 26年 9月 19日

試験者 斎藤 友香

試料番号 (深さ)	P8-1 (3.15~3.45m)		P8-2 (7.15~7.45m)		試料番号 (深さ)	P8-1 (3.15~3.45m)	P8-2 (7.15~7.45m)	
	粒径 mm	通過質量百分率%	粒径 mm	通過質量百分率%		粗礫分 %	-	-
ふるい	75		75		中礫分 %	-	-	
	53		53		細礫分 %	-	-	
	37.5		37.5		粗砂分 %	1.0	0.8	
	26.5		26.5		中砂分 %	74.8	76.4	
	19		19		細砂分 %	19.5	18.3	
	9.5		9.5		シルト分 %	4.7	4.5	
	4.75		4.75		粘土分 %			
	分析	2	100.0	2	100.0	2mmふるい通過質量百分率 %	100.0	100.0
		0.850	99.0	0.850	99.2	425 μ mふるい通過質量百分率 %	71.2	69.0
		0.425	71.2	0.425	69.0	75 μ mふるい通過質量百分率 %	4.7	4.5
0.250		24.2	0.250	22.8	最大粒径 mm	2	2	
0.106		5.5	0.106	5.6	60% 粒径 D_{60} mm	0.3772	0.3877	
0.075		4.7	0.075	4.5	50% 粒径 D_{50} mm	0.3401	0.3497	
					30% 粒径 D_{30} mm	0.2714	0.2780	
沈降分析					10% 粒径 D_{10} mm	0.1734	0.1749	
					均等係数 U_c	2.18	2.22	
					曲率係数 U_c'	1.13	1.14	
					土粒子の密度 ρ_s g/cm ³	-	2.73	
				使用した分散剤	-	-		
				溶液濃度, 溶液添加量				
				20% 粒径 D_{20} mm	0.2321	0.2372		



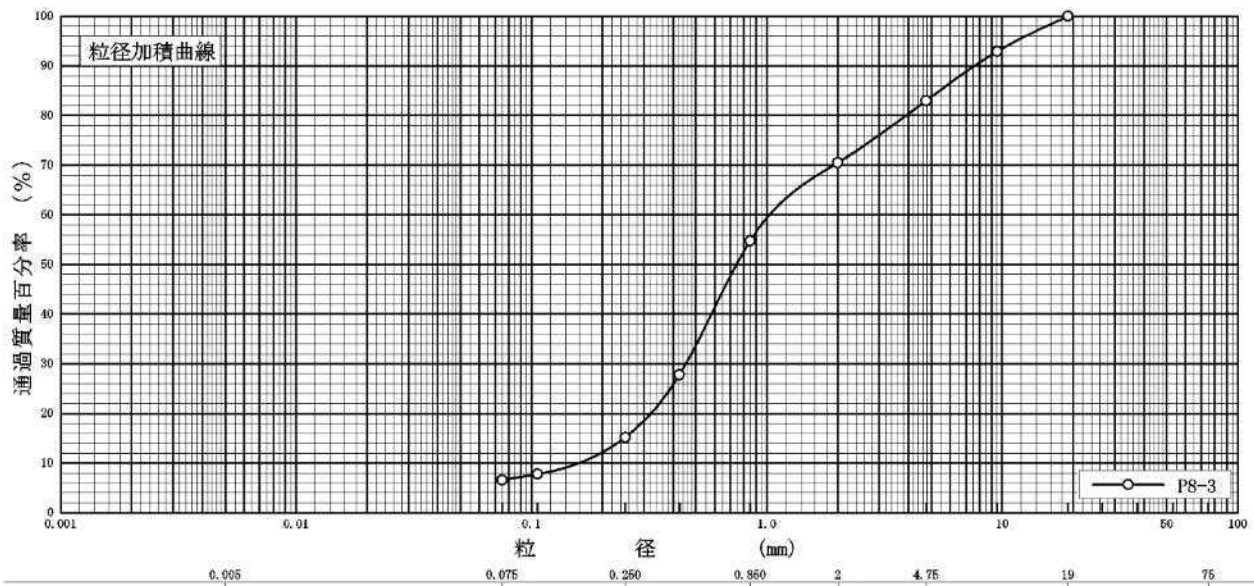
特記事項

調査件名 委東下第5号 平成26年度
大石排水区大石2号貯留管他地質調査委託

試験年月日 平成 26年 9月 19日

試験者 斎藤 友香

試料番号 (深さ)	P8-3 (11.15~11.42m)		試料番号 (深さ)		P8-3 (11.15~11.42m)		
	粒径 mm	通過質量百分率%	粒径 mm	通過質量百分率%	粗礫分 %	-	
ふるい	75		75		中礫分 %	17.0	
	53		53		細礫分 %	12.5	
	37.5		37.5		粗砂分 %	15.7	
	26.5		26.5		中砂分 %	39.6	
	19	100.0	19		細砂分 %	8.6	
	い	9.5	92.9	9.5		シルト分 %	6.6
		4.75	83.0	4.75		粘土分 %	
	分	2	70.5	2		2mmふるい通過質量百分率 %	70.5
		0.850	54.8	0.850		425μmふるい通過質量百分率 %	27.8
		0.425	27.8	0.425		75μmふるい通過質量百分率 %	6.6
		0.250	15.2	0.250		最大粒径 mm	19
		0.106	7.8	0.106		60% 粒径 D_{60} mm	1.0249
		析	0.075	6.6	0.075		50% 粒径 D_{50} mm
						30% 粒径 D_{30} mm	0.4523
					10% 粒径 D_{10} mm	0.1593	
					均等係数 U_c	6.43	
					曲率係数 U'_c	1.25	
沈					土粒子の密度 ρ_s g/cm ³	-	
					使用した分散剤	-	
					溶液濃度, 溶液添加量	-	
降					20% 粒径 D_{20} mm	0.3216	



特記事項 P8-3は粒度試験に必要な最小質量を満足しない。

土質試験結果一覧表 (基礎地盤)

調査件名 委東下第5号 平成26年度
大石排水区大石2号貯留管他地質調査委託

整理年月日 平成 26年 9月 29日

整理担当者 中野 義仁

試料番号 (深 さ)		P9-1 (4.15~4.45m)	P9-2 (8.15~8.45m)	P9-3 (13.15~13.45m)		
一	湿潤密度 ρ_w g/cm ³					
	乾燥密度 ρ_d g/cm ³					
	土粒子の密度 ρ_s g/cm ³		2.70			
	自然含水比 w_n %		20.4			
般	間隙比 e					
	飽和度 S_r %					
粒	石分 (75mm以上) %					
	礫分 ¹⁾ (2~75mm) %	0.0	0.0	49.5		
	砂分 ¹⁾ (0.075~2mm) %	96.8	94.8	44.8		
	シルト分 ¹⁾ (0.005~0.075mm) %	3.2	5.2	5.7		
	粘土分 ¹⁾ (0.005mm未満) %					
	最大粒径 mm	2	2	26.5		
	均等係数 U_c	2.00	2.50	20.29		
度	曲率係数 U_c	1.08	1.11	0.26		
コンシステンシー特性	液性限界 w_L %					
	塑性限界 w_p %					
	塑性指数 I_p					
分類	地盤材料の分類名	分級された砂	細粒分まじり砂	細粒分まじり砂質礫		
	分類記号	(SP)	(S-F)	(GS-F)		
圧密	試験方法					
	圧縮指数 C_c					
	圧密降伏応力 p_c kN/m ²					
一軸圧縮	一軸圧縮強さ q_c kN/m ²					
	破壊ひずみ ϵ_f %					
	MN/m ² %					
せん断	試験条件					
	全応力	c kN/m ²				
		ϕ °				
	有効応力	c' kN/m ²				
ϕ' °						
透水						

特記事項

P9-3は粒度試験に必要な最小質量を満足しない。

1) 石分を除いた75mm未満の土質材料に対する百分率で表す。

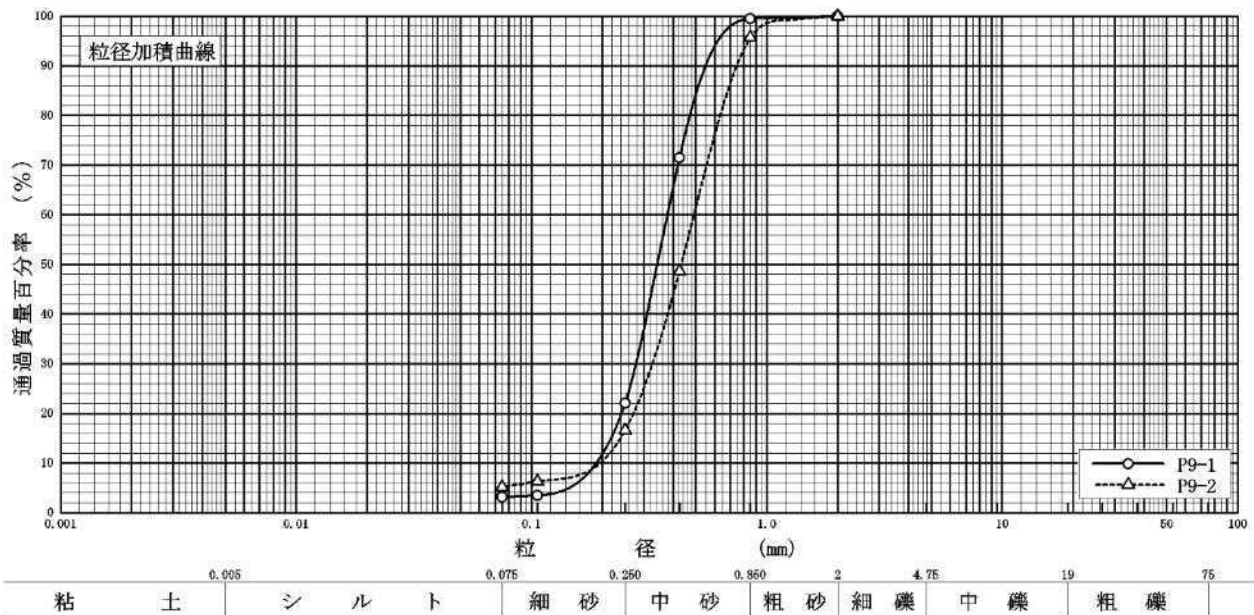
[1kN/m² ≒ 0.102kgf/cm²]

調査件名 委東下第5号 平成26年度
大石排水区大石2号貯留管他地質調査委託

試験年月日 平成 26年 9月 19日

試験者 斎藤 友香

試料番号 (深さ)	P9-1 (4.15~4.45m)		P9-2 (8.15~8.45m)		試料番号 (深さ)	P9-1 (4.15~4.45m)	P9-2 (8.15~8.45m)
	粒径 mm	通過質量百分率%	粒径 mm	通過質量百分率%		粗礫分 %	中礫分 %
ふる る い 分 析	75		75		粗礫分 %	-	-
	53		53		中礫分 %	-	-
	37.5		37.5		細礫分 %	-	-
	26.5		26.5		粗砂分 %	0.5	4.3
	19		19		中砂分 %	77.4	79.1
	9.5		9.5		細砂分 %	18.9	11.4
	4.75		4.75		シルト分 %	3.2	5.2
	2	100.0	2	100.0	粘土分 %		
	0.850	99.5	0.850	95.7	2mmふるい通過質量百分率 %	100.0	100.0
	0.425	71.5	0.425	48.6	425μmふるい通過質量百分率 %	71.5	48.6
	0.250	22.1	0.250	16.6	75μmふるい通過質量百分率 %	3.2	5.2
	0.106	3.5	0.106	6.3	最大粒径 mm	2	2
	0.075	3.2	0.075	5.2	60% 粒径 D_{60} mm	0.3775	0.4900
沈 降 分 析					50% 粒径 D_{50} mm	0.3423	0.4327
					30% 粒径 D_{30} mm	0.2775	0.3262
					10% 粒径 D_{10} mm	0.1884	0.1957
					均等係数 U_c	2.00	2.50
					曲率係数 U_c'	1.08	1.11
				土粒子の密度 ρ_s g/cm ³	-	2.70	
				使用した分散剤	-	-	
				溶液濃度, 溶液添加量	-	-	
				20% 粒径 D_{20} mm	0.2413	0.2710	



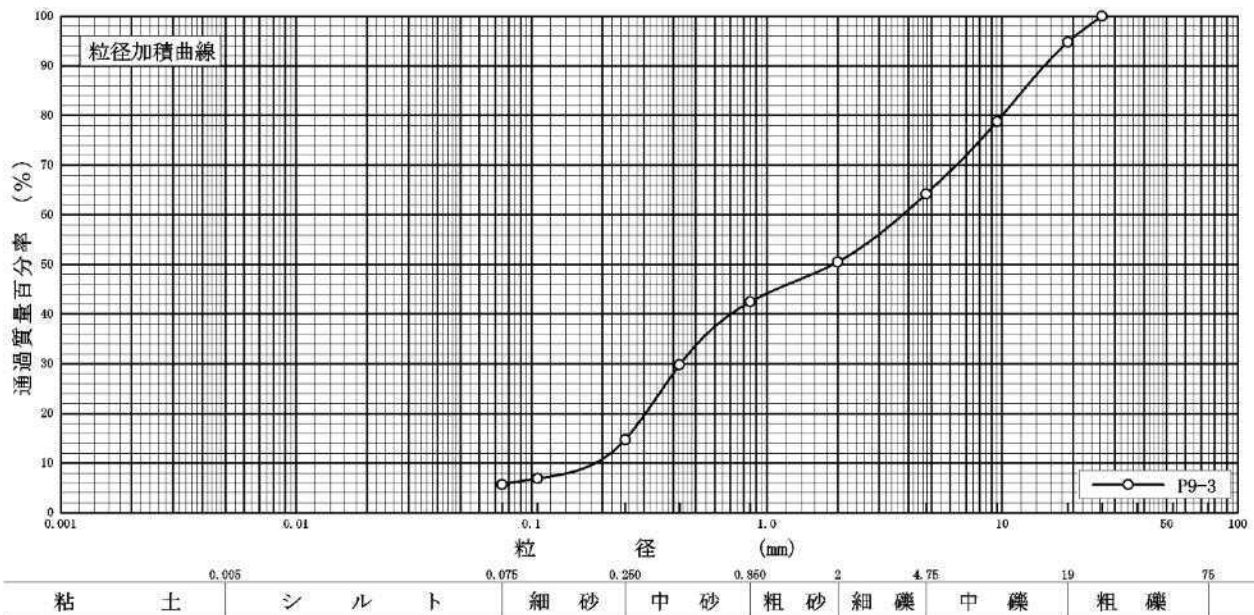
特記事項

調査件名 委東下第5号 平成26年度
大石排水区大石2号貯留管他地質調査委託

試験年月日 平成 26年 9月 19日

試験者 斎藤 友香

試料番号 (深さ)	P9-3 (13.15~13.45m)		試料番号 (深さ)		P9-3 (13.15~13.45m)	
	粒径 mm	通過質量百分率%	粒径 mm	通過質量百分率%	粗礫分 %	5.2
ふるい 分析	75		75		中礫分 %	30.6
	53		53		細礫分 %	13.7
	37.5		37.5		粗砂分 %	8.0
	26.5	100.0	26.5		中砂分 %	27.8
	19	94.8	19		細砂分 %	9.0
	9.5	78.8	9.5		シルト分 %	5.7
	4.75	64.2	4.75		粘土分 %	
	2	50.5	2		2mmふるい通過質量百分率 %	50.5
	0.850	42.5	0.850		425μmふるい通過質量百分率 %	29.8
	0.425	29.8	0.425		75μmふるい通過質量百分率 %	5.7
	0.250	14.7	0.250		最大粒径 mm	26.5
	0.106	6.9	0.106		60% 粒径 D_{60} mm	3.7832
	0.075	5.7	0.075		50% 粒径 D_{50} mm	1.9105
沈降 分析					30% 粒径 D_{30} mm	0.4285
					10% 粒径 D_{10} mm	0.1865
					均等係数 U_c	20.29
					曲率係数 U_c'	0.26
					土粒子の密度 ρ_s g/cm ³	-
				使用した分散剤	-	
				溶液濃度, 溶液添加量	-	
				20% 粒径 D_{20} mm	0.3057	



特記事項 P9-3は粒度試験に必要な最小質量を満足しない。

JGS 1314	単孔を利用した透水試験(非定常法/直線勾配法)
----------	-------------------------

調査件名 平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調査 委託 試験年月日 平成26年7月25日

地点番号 (地盤高) No. 1

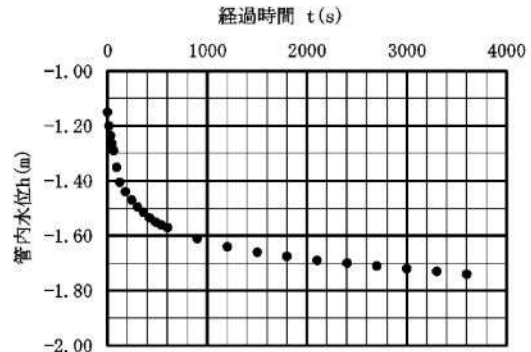
試験者 高橋

試験条件	試験方法	投入	天候	晴れ
	試験区間の深さ GL m	-14.00 ~ -14.50	管口の高さ GL m	+0.50
	試験区間の長さ L m	0.50	上部離隔長 L1' m	0.00
	平衡水位測定	試験後	下部離隔長 L2' m	0.00
	平衡水位 hoGL m	-1.870	試験区間の孔径 D m	0.066
試験開始水位差 sp m	0.720	測定パイプの内径 d m	0.102	
		等価内径 de m	0.102	

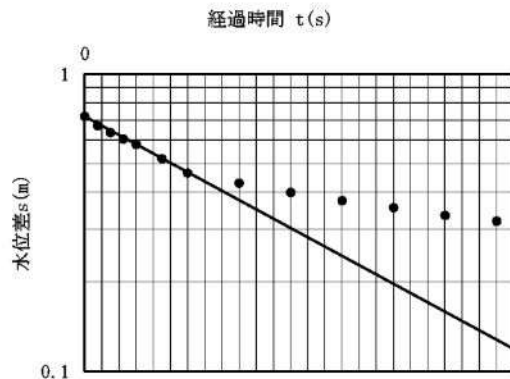
試験記録

経過時間 t s	水位測定管内水位 h GL m	水位差 s (=ho-h) m
0	-1.150	0.720
15	-1.200	0.670
30	-1.235	0.635
45	-1.265	0.605
60	-1.290	0.580
90	-1.350	0.520
120	-1.405	0.465
180	-1.440	0.430
240	-1.470	0.400
300	-1.495	0.375
360	-1.515	0.355
420	-1.535	0.335
480	-1.550	0.320
540	-1.560	0.310
600	-1.570	0.300
900	-1.610	0.260
1,200	-1.640	0.230
1,500	-1.660	0.210
1,800	-1.675	0.195
2,100	-1.690	0.180
2,400	-1.700	0.170
2,700	-1.710	0.160
3,000	-1.720	0.150
3,300	-1.730	0.140
3,600	-1.740	0.130
5,400	-1.785	0.085
7,200	-1.815	0.055
9,000	-1.825	0.045
10,800	-1.830	0.040

h-t曲線



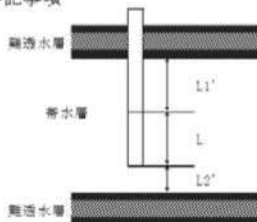
Log s-t 曲線



試験結果

直線上の点座標 t1 s	0	直線勾配 a 1/s	1.57E-03	透水係数 k m/s	2.54E-05
直線上の点座標 t2 s	60	$a = \frac{\log(s1/s2)}{t2-t1}$	$k = \frac{(2.3de)^2}{8L} \log\left(\frac{2L}{D}\right)a$		
直線上の点座標 s1 m	0.720				
直線上の点座標 s2 m	0.580				

特記事項



JGS 1314	単孔を利用した透水試験(非定常法/直線勾配法)
----------	-------------------------

調査件名 平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調査 委託 試験年月日 平成26年7月25日

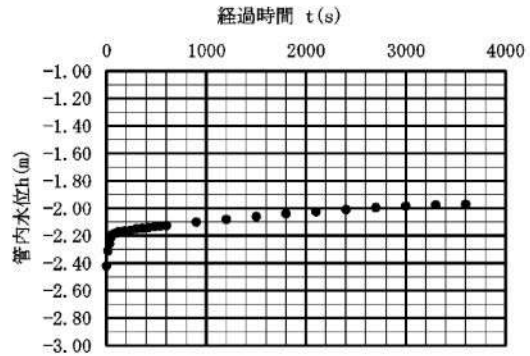
地点番号(地盤高) No.1 試験者 高橋

試験条件	試験方法	汲上げ(回復)	天候	晴れ
	試験区間の深さ GL m	-14.00 ~ -14.50	管口の高さ GL m	+0.50
	試験区間の長さ L m	0.50	上部離隔長 L1' m	0.00
	平衡水位測定	試験後	下部離隔長 L2' m	0.00
	平衡水位 hoGL m	-1.870	試験区間の孔径 D m	0.066
試験開始水位差 sp m	0.550	測定パイプの内径 d m	0.102	
		等価内径 de m	0.102	

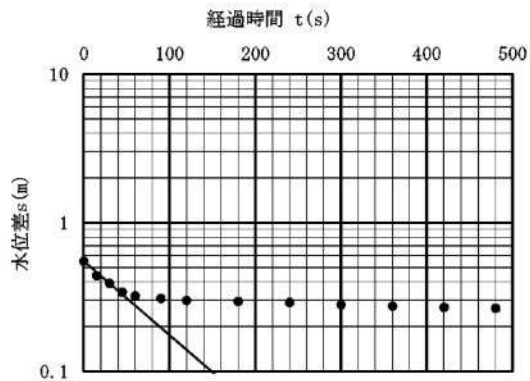
試験記録

経過時間 t s	水位測定管内水位 h GL m	水位差 s (=ho-h) m
0	-2.420	0.550
15	-2.310	0.440
30	-2.260	0.390
45	-2.210	0.340
60	-2.190	0.320
90	-2.180	0.310
120	-2.170	0.300
180	-2.165	0.295
240	-2.160	0.290
300	-2.150	0.280
360	-2.145	0.275
420	-2.140	0.270
480	-2.135	0.265
540	-2.130	0.260
600	-2.125	0.255
900	-2.100	0.230
1,200	-2.080	0.210
1,500	-2.060	0.190
1,800	-2.040	0.170
2,100	-2.025	0.155
2,400	-2.010	0.140
2,700	-1.995	0.125
3,000	-1.985	0.115
3,300	-1.975	0.105
3,600	-1.970	0.100
5,400	-1.945	0.075
7,200	-1.925	0.055
9,000	-1.920	0.050

h-t曲線



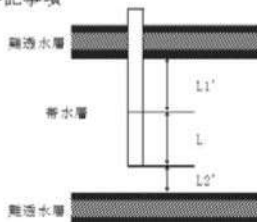
Log s-t 曲線



試験結果

直線上の点座標 t1 s	0	直線勾配 a 1/s	4.98E-03	透水係数 k m/s	8.08E-05
直線上の点座標 t2 s	30	$a = \frac{\log(s1/s2)}{t2-t1}$	$k = \frac{(2.3de)^2}{8L} \log\left(\frac{2L}{D}\right)a$		
直線上の点座標 s1 m	0.550				
直線上の点座標 s2 m	0.390				

特記事項



JGS 1314	単孔を利用した透水試験(非定常法/直線勾配法)
----------	-------------------------

調査件名 平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調査 委託 試験年月日 平成26年8月22日

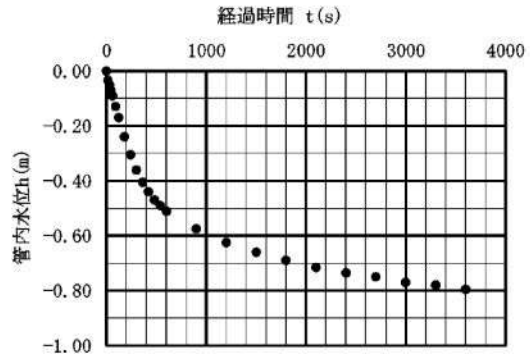
地点番号 (地盤高) No. 2 試験者 土田

試験条件	試験方法	投入	天候	晴れ
	試験区間の深さ GL m	-12.50 ~ -13.00	管口の高さ GL m	+0.50
	試験区間の長さ L m	0.50	上部離隔長 L1' m	0.00
	平衡水位測定	試験後	下部離隔長 L2' m	0.00
	平衡水位 hoGL m	-2.210	試験区間の孔径 D m	0.066
試験開始水位差 sp m	2.450	測定パイプの内径 d m	0.102	
		等価内径 de m	0.102	

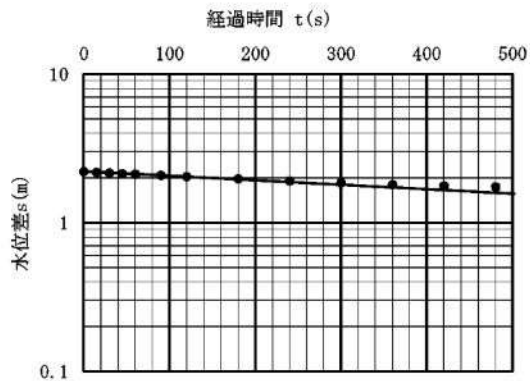
試験記録

経過時間 t s	水位測定管内水位 h GL m	水位差 s (=ho-h) m
0	0.000	2.210
15	-0.035	2.175
30	-0.050	2.160
45	-0.070	2.140
60	-0.090	2.120
90	-0.130	2.080
120	-0.170	2.040
180	-0.240	1.970
240	-0.305	1.905
300	-0.360	1.850
360	-0.405	1.805
420	-0.440	1.770
480	-0.470	1.740
540	-0.490	1.720
600	-0.510	1.700
900	-0.575	1.635
1,200	-0.625	1.585
1,500	-0.660	1.550
1,800	-0.690	1.520
2,100	-0.715	1.495
2,400	-0.735	1.475
2,700	-0.750	1.460
3,000	-0.770	1.440
3,300	-0.780	1.430
3,600	-0.795	1.415
5,400	-0.840	1.370
7,200	-0.870	1.340
9,000	-0.880	1.330

h-t曲線



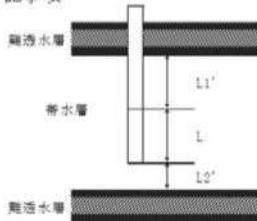
Log s-t 曲線



試験結果

直線上の点座標 t1 s	0	直線勾配 a 1/s	3.01E-04	透水係数 k m/s	4.89E-06
直線上の点座標 t2 s	60	$a = \frac{\log(s1/s2)}{t2-t1}$	$k = \frac{(2.3de)^2}{8L} \log\left(\frac{2L}{D}\right)a$		
直線上の点座標 s1 m	2.210				
直線上の点座標 s2 m	2.120				

特記事項



JGS 1314	単孔を利用した透水試験(非定常法/直線勾配法)
----------	-------------------------

調査件名 平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調査 委託 試験年月日 平成26年8月22日

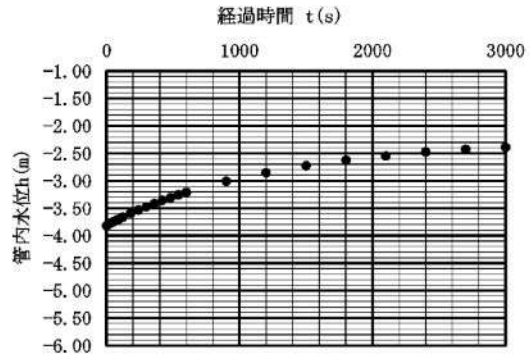
地点番号 (地盤高) No. 2 試験者 土田

試験条件	試験方法	汲上げ(回復)	天候	晴れ
	試験区間の深さ GL m	-12.50 ~ -13.00	管口の高さ GL m	+0.50
	試験区間の長さ L m	0.50	上部離隔長 L1' m	0.00
	平衡水位測定	試験後	下部離隔長 L2' m	0.00
	平衡水位 hoGL m	-2.210	試験区間の孔径 D m	0.066
試験開始水位差 sp m	1.610	測定パイプの内径 d m	0.102	
		等価内径 de m	0.102	

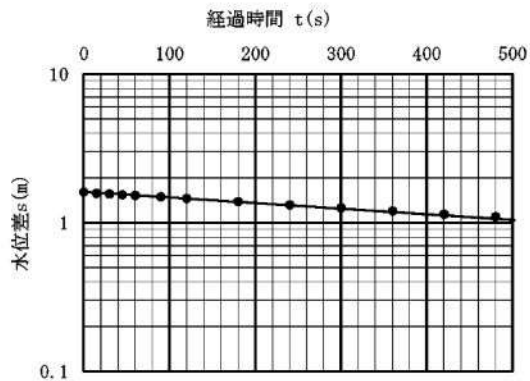
試験記録

経過時間 t s	水位測定管内水位 h GL m	水位差 s (=ho-h) m
0	-3.820	1.610
15	-3.790	1.580
30	-3.770	1.560
45	-3.753	1.543
60	-3.738	1.528
90	-3.697	1.487
120	-3.663	1.453
180	-3.595	1.385
240	-3.528	1.318
300	-3.470	1.260
360	-3.410	1.200
420	-3.355	1.145
480	-3.305	1.095
540	-3.255	1.045
600	-3.210	1.000
900	-3.010	0.800
1,200	-2.850	0.640
1,500	-2.725	0.515
1,800	-2.625	0.415
2,100	-2.545	0.335
2,400	-2.475	0.265
2,700	-2.430	0.220
3,000	-2.390	0.180
3,300	-2.355	0.145
3,600	-2.325	0.115
5,400	-2.240	0.030
7,200	-2.215	0.005
9,000	-2.210	0.000

h-t曲線



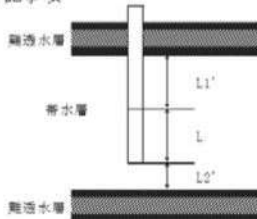
Log s-t 曲線



試験結果

直線上の点座標 t1 s	0	直線勾配 a 1/s	3.78E-04	透水係数 k m/s	6.15E-06
直線上の点座標 t2 s	60	$a = \frac{\log(s1/s2)}{t2-t1}$	$k = \frac{(2.3de)^2}{8L} \log\left(\frac{2L}{D}\right)a$		
直線上の点座標 s1 m	1.610				
直線上の点座標 s2 m	1.528				

特記事項



JGS 1314	単孔を利用した透水試験(非定常法/直線勾配法)
----------	-------------------------

調査件名 平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調査 委託 試験年月日 平成26年7月31日

地点番号(地盤高) No.3

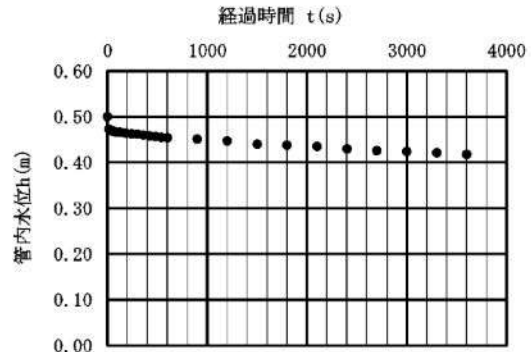
試験者 清野

試験条件	試験方法	投入	天候	晴れ
	試験区間の深さ GL m	-11.50 ~ -12.00	管口の高さ GL m	+0.50
	試験区間の長さ L m	0.50	上部離隔長 L1' m	0.00
	平衡水位測定	試験後	下部離隔長 L2' m	0.00
	平衡水位 hoGL m	-1.820	試験区間の孔径 D m	0.066
試験開始水位差 sp m	2.320	測定パイプの内径 d m	0.102	
		等価内径 de m	0.102	

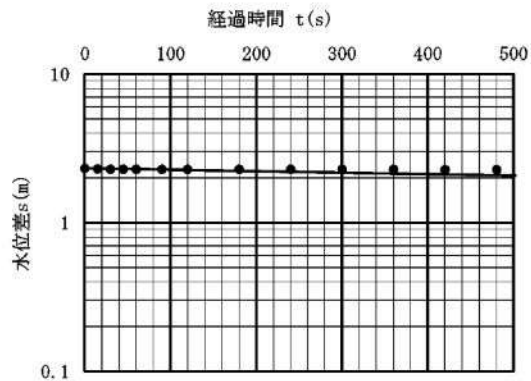
試験記録

経過時間 t s	水位測定管内水位 h GL m	水位差 s (=ho-h) m
0	0.500	2.320
15	0.473	2.293
30	0.470	2.290
45	0.470	2.290
60	0.468	2.288
90	0.467	2.287
120	0.467	2.287
180	0.465	2.285
240	0.463	2.283
300	0.462	2.282
360	0.460	2.280
420	0.458	2.278
480	0.457	2.277
540	0.455	2.275
600	0.454	2.274
900	0.451	2.271
1,200	0.447	2.267
1,500	0.440	2.260
1,800	0.438	2.258
2,100	0.435	2.255
2,400	0.430	2.250
2,700	0.426	2.246
3,000	0.424	2.244
3,300	0.421	2.241
3,600	0.418	2.238
5,400	0.404	2.224
7,200	0.390	2.210
9,000	0.385	2.205

h-t曲線



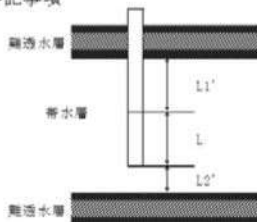
Log s-t 曲線



試験結果

直線上の点座標 t1 s	0	直線勾配 a 1/s	1.01E-04	透水係数 k m/s	1.63E-06
直線上の点座標 t2 s	60	$a = \frac{\log(s1/s2)}{t2-t1}$	$k = \frac{(2.3de)^2}{8L} \log\left(\frac{2L}{D}\right)a$		
直線上の点座標 s1 m	2.320				
直線上の点座標 s2 m	2.288				

特記事項



JGS 1314	単孔を利用した透水試験(非定常法/直線勾配法)
----------	-------------------------

調査件名 平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調査 試験年月日 平成26年7月31日
委託

地点番号(地盤高) No. 3

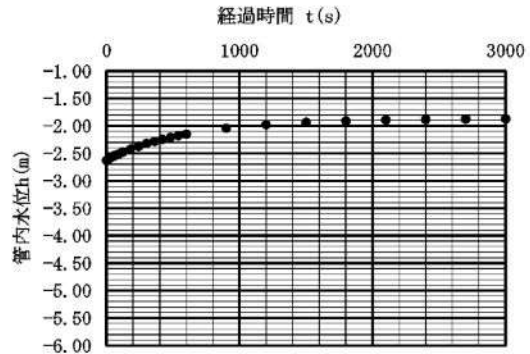
試験者 清野

試験条件	試験方法	汲上げ(回復)	天候	晴れ
	試験区間の深さ GL m	-11.50 ~ -12.00	管口の高さ GL m	+0.50
	試験区間の長さ L m	0.50	上部離隔長 L1' m	0.00
	平衡水位測定	試験後	下部離隔長 L2' m	0.00
	平衡水位 hoGL m	-1.820	試験区間の孔径 D m	0.066
試験開始水位差 sp m	0.810	測定パイプの内径 d m	0.102	
		等価内径 de m	0.102	

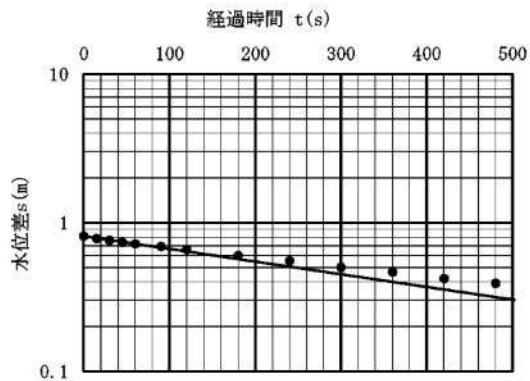
試験記録

経過時間 t s	水位測定管内水位 h GL m	水位差 s (=ho-h) m
0	-2.630	0.810
15	-2.600	0.780
30	-2.580	0.760
45	-2.560	0.740
60	-2.540	0.720
90	-2.510	0.690
120	-2.480	0.660
180	-2.422	0.602
240	-2.373	0.553
300	-2.320	0.500
360	-2.285	0.465
420	-2.242	0.422
480	-2.210	0.390
540	-2.178	0.358
600	-2.150	0.330
900	-2.042	0.222
1,200	-1.978	0.158
1,500	-1.935	0.115
1,800	-1.908	0.088
2,100	-1.893	0.073
2,400	-1.880	0.060
2,700	-1.878	0.058
3,000	-1.872	0.052
3,300	-1.870	0.050
3,600	-1.868	0.048
5,400	-1.863	0.043
7,200	-1.857	0.037
9,000	-1.854	0.034

h-t曲線



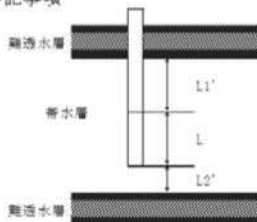
Log s-t 曲線



試験結果

直線上の点座標 t1 s	0	直線勾配 a 1/s	8.53E-04	透水係数 k m/s	1.38E-05
直線上の点座標 t2 s	60	$a = \frac{\log(s1/s2)}{t2-t1}$	$k = \frac{(2.3de)^2}{8L} \log\left(\frac{2L}{D}\right)a$		
直線上の点座標 s1 m	0.810				
直線上の点座標 s2 m	0.720				

特記事項



JGS 1314	単孔を利用した透水試験(非定常法/直線勾配法)
----------	-------------------------

調査件名 平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調査 委託 試験年月日 平成26年8月8日

地点番号(地盤高) No. 4

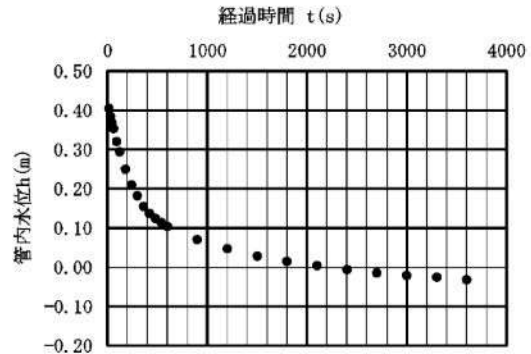
試験者 清野

試験条件	試験方法	投入	天候	雨
	試験区間の深さ GL m	-11.00 ~ -11.50	管口の高さ GL m	+0.50
	試験区間の長さ L m	0.50	上部離隔長 L1' m	0.00
	平衡水位測定	試験後	下部離隔長 L2' m	0.00
	平衡水位 hoGL m	-2.320	試験区間の孔径 D m	0.066
試験開始水位差 sp m	2.725	測定パイプの内径 d m	0.102	
			等価内径 de m	0.102

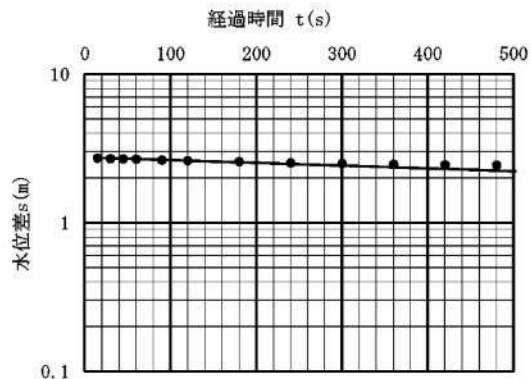
試験記録

経過時間 t s	水位測定管内水位 h GL m	水位差 s (=ho-h) m
0		
15	0.405	2.725
30	0.384	2.704
45	0.368	2.688
60	0.353	2.673
90	0.320	2.640
120	0.294	2.614
180	0.250	2.570
240	0.210	2.530
300	0.182	2.502
360	0.155	2.475
420	0.137	2.457
480	0.124	2.444
540	0.113	2.433
600	0.104	2.424
900	0.070	2.390
1,200	0.047	2.367
1,500	0.028	2.348
1,800	0.015	2.335
2,100	0.004	2.324
2,400	-0.006	2.314
2,700	-0.015	2.305
3,000	-0.021	2.299
3,300	-0.026	2.294
3,600	-0.032	2.288
5,400	-0.064	2.256
7,200	-0.093	2.227
9,000	-0.112	2.208

h-t曲線



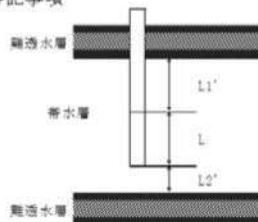
Log s-t 曲線



試験結果

直線上の点座標 t1 s	15	直線勾配 a 1/s	1.86E-04	透水係数 k m/s	3.02E-06
直線上の点座標 t2 s	60	$a = \frac{\log(s1/s2)}{t2-t1}$	$k = \frac{(2.3de)^2}{8L} \log\left(\frac{2L}{D}\right)a$		
直線上の点座標 s1 m	2.725				
直線上の点座標 s2 m	2.673				

特記事項



JGS 1314	単孔を利用した透水試験(非定常法/直線勾配法)
----------	-------------------------

調査件名 平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調査 委託
 試験年月日 平成26年8月8日

地点番号(地盤高) No. 4

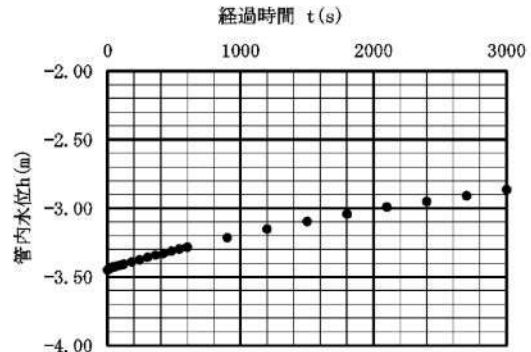
試験者 清野

試験条件	試験方法	汲上げ(回復)	天候	雨
	試験区間の深さ GL m	-11.00 ~ -11.50	管口の高さ GL m	+0.50
	試験区間の長さ L m	0.50	上部離隔長 L1' m	0.00
	平衡水位測定	試験後	下部離隔長 L2' m	0.00
	平衡水位 hoGL m	-2.320	試験区間の孔径 D m	0.066
試験開始水位差 sp m	1.130	測定パイプの内径 d m	0.102	
		等価内径 de m	0.102	

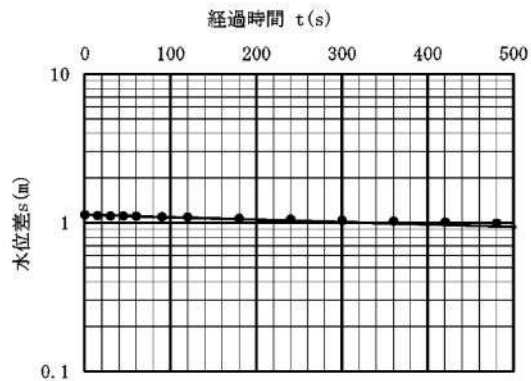
試験記録

経過時間 t s	水位測定管内水位 h GL m	水位差 s (=ho-h) m
0	-3.450	1.130
15	-3.437	1.117
30	-3.432	1.112
45	-3.428	1.108
60	-3.425	1.105
90	-3.415	1.095
120	-3.408	1.088
180	-3.390	1.070
240	-3.375	1.055
300	-3.358	1.038
360	-3.342	1.022
420	-3.328	1.008
480	-3.312	0.992
540	-3.298	0.978
600	-3.282	0.962
900	-3.215	0.895
1,200	-3.152	0.832
1,500	-3.095	0.775
1,800	-3.042	0.722
2,100	-2.992	0.672
2,400	-2.950	0.630
2,700	-2.908	0.588
3,000	-2.865	0.545
3,300	-2.830	0.510
3,600	-2.795	0.475
5,400	-2.640	0.320
7,200	-2.532	0.212
9,000	-2.442	0.122

h-t曲線



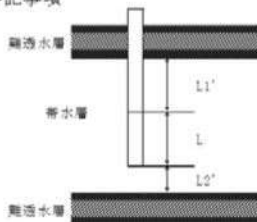
Log s-t 曲線



試験結果

直線上の点座標 t1 s	0	直線勾配 a 1/s	1.62E-04	透水係数 k m/s	2.63E-06
直線上の点座標 t2 s	60	$a = \frac{\log(s1/s2)}{t2-t1}$	$k = \frac{(2.3de)^2}{8L} \log\left(\frac{2L}{D}\right)a$		
直線上の点座標 s1 m	1.130				
直線上の点座標 s2 m	1.105				

特記事項



JGS 1314	単孔を利用した透水試験(非定常法/直線勾配法)
----------	-------------------------

調査件名 平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調査 委託 試験年月日 平成26年8月8日

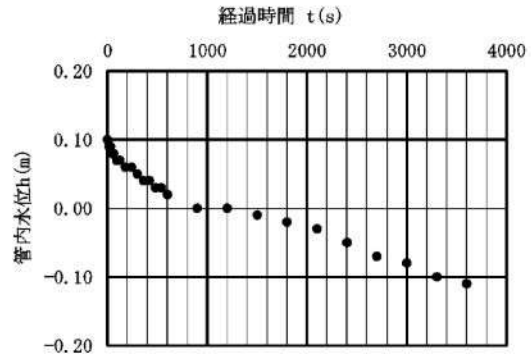
地点番号 (地盤高) No. 5 試験者 本間

試験条件	試験方法	投入	天候	曇り・雨
	試験区間の深さ GL m	-11.00 ~ -11.50	管口の高さ GL m	+0.10
	試験区間の長さ L m	0.50	上部離隔長 L1' m	0.00
	平衡水位測定	試験後	下部離隔長 L2' m	0.00
	平衡水位 hoGL m	-2.420	試験区間の孔径 D m	0.086
試験開始水位差 sp m	2.520	測定パイプの内径 d m	0.114	
		等価内径 de m	0.114	

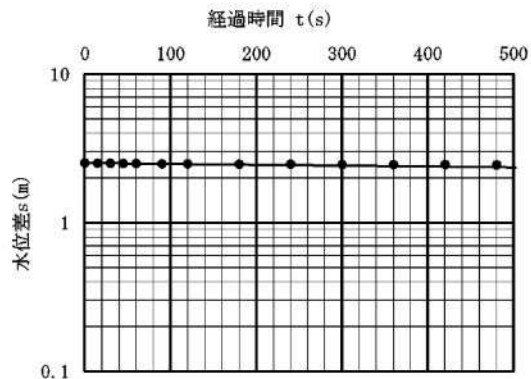
試験記録

経過時間 t s	水位測定管内水位 h GL m	水位差 s (=ho-h) m
0	0.100	2.520
15	0.090	2.510
30	0.090	2.510
45	0.080	2.500
60	0.080	2.500
90	0.070	2.490
120	0.070	2.490
180	0.060	2.480
240	0.060	2.480
300	0.050	2.470
360	0.040	2.460
420	0.040	2.460
480	0.030	2.450
540	0.030	2.450
600	0.020	2.440
900	0.000	2.420
1,200	0.000	2.420
1,500	-0.010	2.410
1,800	-0.020	2.400
2,100	-0.030	2.390
2,400	-0.050	2.370
2,700	-0.070	2.350
3,000	-0.080	2.340
3,300	-0.100	2.320
3,600	-0.110	2.310
5,400	-0.180	2.240
7,200	-0.240	2.180

h-t曲線



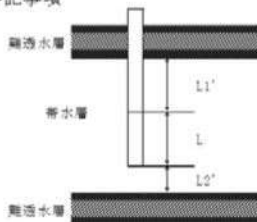
Log s-t 曲線



試験結果

直線上の点座標 t1 s	0	直線勾配 a 1/s	5.77E-05	透水係数 k m/s	1.06E-06
直線上の点座標 t2 s	60	$a = \frac{\log(s1/s2)}{t2-t1}$	$k = \frac{(2.3de)^2}{8L} \log\left(\frac{2L}{D}\right)a$		
直線上の点座標 s1 m	2.520				
直線上の点座標 s2 m	2.500				

特記事項



JGS 1314	単孔を利用した透水試験(非定常法/直線勾配法)
----------	-------------------------

調査件名 平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調査 試験年月日 平成26年8月8日
委託

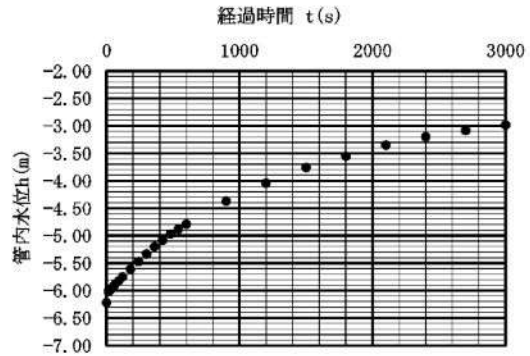
地点番号(地盤高) No.5 試験者 本間

試験条件	試験方法	汲上げ(回復)	天候	曇り・雨
	試験区間の深さ GL m	-11.00 ~ -11.50	管口の高さ GL m	+0.10
	試験区間の長さ L m	0.50	上部離隔長 L1' m	0.00
	平衡水位測定	試験後	下部離隔長 L2' m	0.00
	平衡水位 hoGL m	-2.420	試験区間の孔径 D m	0.066
試験開始水位差 sp m	0.690	測定パイプの内径 d m	0.102	
		等価内径 de m	0.102	

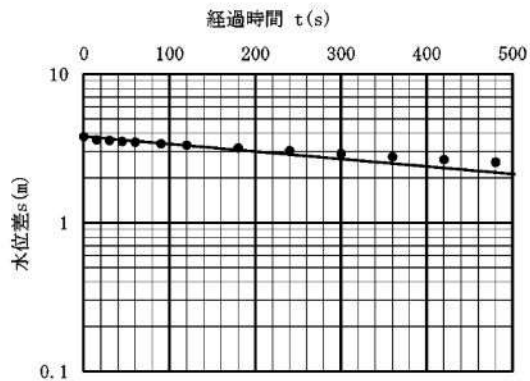
試験記録

経過時間 t s	水位測定管内水位 h GL m	水位差 s (=ho-h) m
0	-6.220	3.800
15	-6.020	3.600
30	-5.990	3.570
45	-5.940	3.520
60	-5.900	3.480
90	-5.820	3.400
120	-5.750	3.330
180	-5.610	3.190
240	-5.470	3.050
300	-5.330	2.910
360	-5.200	2.780
420	-5.080	2.660
480	-4.970	2.550
540	-4.880	2.460
600	-4.790	2.370
900	-4.370	1.950
1,200	-4.040	1.620
1,500	-3.760	1.340
1,800	-3.550	1.130
2,100	-3.350	0.930
2,400	-3.200	0.780
2,700	-3.080	0.660
3,000	-2.980	0.560
3,300	-2.900	0.480
3,600	-2.820	0.400
5,400	-2.590	0.170
7,200	-2.540	0.120
9,000	-2.510	0.090
10,800	-2.500	0.080

h-t曲線



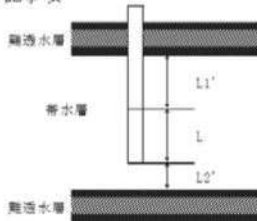
Log s-t 曲線



試験結果

直線上の点座標 t1 s	0	直線勾配 a 1/s	5.04E-04	透水係数 k m/s	8.18E-06
直線上の点座標 t2 s	30	$a = \frac{\log(s1/s2)}{t2-t1}$	$k = \frac{(2.3de)^2}{8L} \log\left(\frac{2L}{D}\right)a$		
直線上の点座標 s1 m	3.800				
直線上の点座標 s2 m	3.670				

特記事項



JGS 1314	単孔を利用した透水試験(非定常法/直線勾配法)
----------	-------------------------

調査件名 平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調査 委託 試験年月日 平成26年8月8日

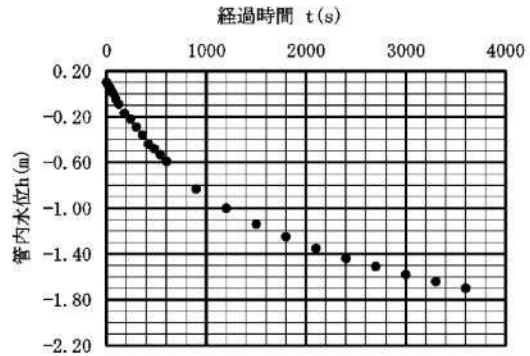
地点番号(地盤高) No.5 試験者 本間

試験条件	試験方法	投入	天候	曇り・雨
	試験区間の深さ GL m	-4.00 ~ -4.50	管口の高さ GL m	+0.10
	試験区間の長さ L m	0.50	上部離隔長 L1' m	0.00
	平衡水位測定	試験後	下部離隔長 L2' m	0.00
	平衡水位 hoGL m	-2.520	試験区間の孔径 D m	0.086
試験開始水位差 sp m	2.620	測定パイプの内径 d m	0.114	
		等価内径 de m	0.114	

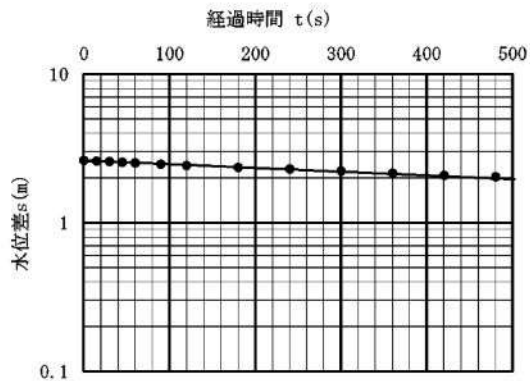
試験記録

経過時間 t s	水位測定管内水位 h GL m	水位差 s (=ho-h) m
0	0.100	2.620
15	0.080	2.600
30	0.060	2.580
45	0.030	2.550
60	0.010	2.530
90	-0.040	2.480
120	-0.090	2.430
180	-0.170	2.350
240	-0.220	2.300
300	-0.290	2.230
360	-0.360	2.160
420	-0.440	2.080
480	-0.480	2.040
540	-0.530	1.990
600	-0.590	1.930
900	-0.830	1.690
1,200	-1.000	1.520
1,500	-1.140	1.380
1,800	-1.250	1.270
2,100	-1.350	1.170
2,400	-1.440	1.080
2,700	-1.510	1.010
3,000	-1.580	0.940
3,300	-1.640	0.880
3,600	-1.700	0.820
5,400	-1.950	0.570
7,200	-2.120	0.400

h-t曲線



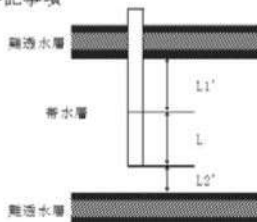
Log s-t 曲線



試験結果

直線上の点座標 t1 s	0	直線勾配 a 1/s	2.53E-04	透水係数 k m/s	4.63E-06
直線上の点座標 t2 s	60	$a = \frac{\log(s1/s2)}{t2-t1}$	$k = \frac{(2.3de)^2}{8L} \log\left(\frac{2L}{D}\right)a$		
直線上の点座標 s1 m	2.620				
直線上の点座標 s2 m	2.530				

特記事項



JGS 1314	単孔を利用した透水試験(非定常法/直線勾配法)
----------	-------------------------

調査件名 平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調査 委託 試験年月日 平成26年8月8日

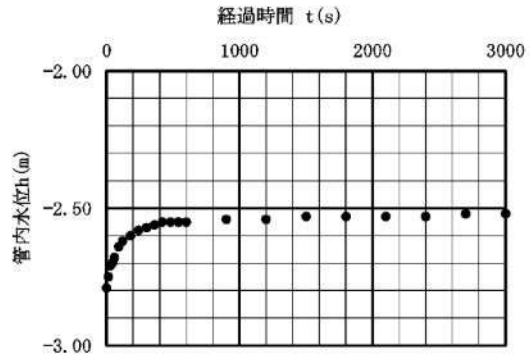
地点番号 (地盤高) No. 5 試験者 本間

試験条件	試験方法	汲上げ(回復)	天候	曇り・雨	
	試験区間の深さ GL m	-4.00 ~ -4.50	管口の高さ GL m	+0.10	
	試験区間の長さ L m	0.50	上部離隔長 L1' m	0.00	
	平衡水位測定	試験後	下部離隔長 L2' m	0.00	
	平衡水位 hoGL m	-2.520	試験区間の孔径 D m	0.086	
試験開始水位差 sp m	0.270	測定パイプの内径 d m	0.114	等価内径 de m	0.114

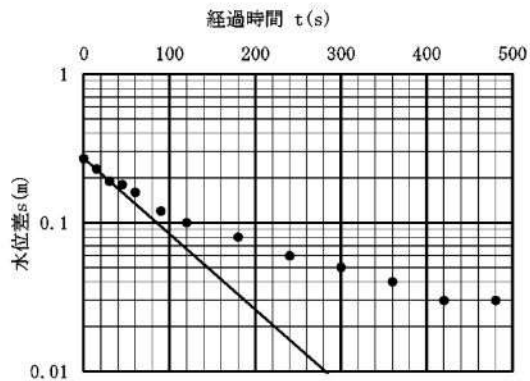
試験記録

経過時間 t s	水位測定管内水位 h GL m	水位差 s (=ho-h) m
0	-2.790	0.270
15	-2.750	0.230
30	-2.710	0.190
45	-2.700	0.180
60	-2.680	0.160
90	-2.640	0.120
120	-2.620	0.100
180	-2.600	0.080
240	-2.580	0.060
300	-2.570	0.050
360	-2.560	0.040
420	-2.550	0.030
480	-2.550	0.030
540	-2.550	0.030
600	-2.550	0.030
900	-2.540	0.020
1,200	-2.540	0.020
1,500	-2.530	0.010
1,800	-2.530	0.010
2,100	-2.530	0.010
2,400	-2.530	0.010
2,700	-2.520	0.000
3,000	-2.520	0.000
3,300	-2.520	0.000
3,600	-2.520	0.000
5,400	-2.520	0.000
7,200	-2.520	0.000
9,000	-2.520	0.000
10,800	-2.520	0.000

h-t曲線



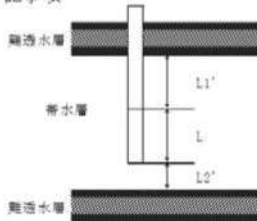
Log s-t 曲線



試験結果

直線上の点座標 t1 s	0	直線勾配 a 1/s	5.09E-03	透水係数 k m/s	9.32E-05
直線上の点座標 t2 s	30	$a = \frac{\log(s1/s2)}{t2-t1}$	$k = \frac{(2.3de)^2}{8L} \log\left(\frac{2L}{D}\right)a$		
直線上の点座標 s1 m	0.270				
直線上の点座標 s2 m	0.190				

特記事項



JGS 1314	単孔を利用した透水試験(非定常法/直線勾配法)
----------	-------------------------

調査件名 平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調査 委託 試験年月日 平成26年9月1日

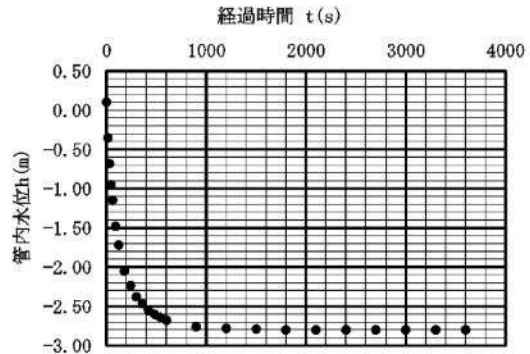
地点番号 (地盤高) No. 6 試験者 本間

試験条件	試験方法	投入	天候	曇り	
	試験区間の深さ GL m	-12.00 ~ -12.50	管口の高さ GL m	+0.10	
	試験区間の長さ L m	0.50	上部離隔長 L1' m	0.00	
	平衡水位測定	試験後	下部離隔長 L2' m	0.00	
	平衡水位 hoGL m	-2.800	試験区間の孔径 D m	0.086	
試験開始水位差 sp m	2.900	測定パイプの内径 d m	0.114	等価内径 de m	0.114

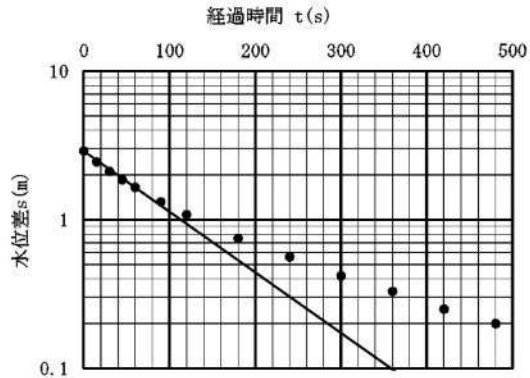
試験記録

経過時間 t s	水位測定管内水位 h GL m	水位差 s (=ho-h) m
0	0.100	2.900
15	-0.350	2.450
30	-0.680	2.120
45	-0.950	1.850
60	-1.150	1.650
90	-1.480	1.320
120	-1.720	1.080
180	-2.050	0.750
240	-2.240	0.560
300	-2.380	0.420
360	-2.470	0.330
420	-2.550	0.250
480	-2.600	0.200
540	-2.640	0.160
600	-2.680	0.120
900	-2.760	0.040
1,200	-2.780	0.020
1,500	-2.790	0.010
1,800	-2.800	0.000
2,100	-2.800	0.000
2,400	-2.800	0.000
2,700	-2.800	0.000
3,000	-2.800	0.000
3,300	-2.800	0.000
3,600	-2.800	0.000

h-t曲線



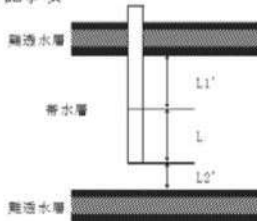
Log s-t 曲線



試験結果

直線上の点座標 t1 s	0	直線勾配 a 1/s	4.08E-03	透水係数 k m/s	7.48E-05
直線上の点座標 t2 s	60	$a = \frac{\log(s1/s2)}{t2-t1}$	$k = \frac{(2.3de)^2}{8L} \log\left(\frac{2L}{D}\right)a$		
直線上の点座標 s1 m	2.900				
直線上の点座標 s2 m	1.650				

特記事項



JGS 1314	単孔を利用した透水試験(非定常法/直線勾配法)
----------	-------------------------

調査件名 平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調査 試験年月日 平成26年9月1日
委託

地点番号 (地盤高) No. 6

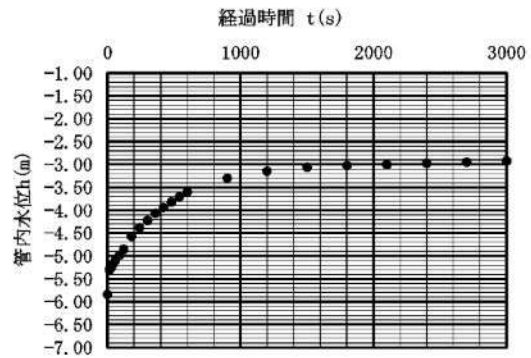
試験者 本間

試験条件	試験方法	汲上げ(回復)	天候	曇り	
	試験区間の深さ GL m	-12.00 ~ -12.50	管口の高さ GL m	+0.10	
	試験区間の長さ L m	0.50	上部離隔長 L1' m	0.00	
	平衡水位測定	試験後	下部離隔長 L2' m	0.00	
	平衡水位 hoGL m	-2.800	試験区間の孔径 D m	0.086	
試験開始水位差 sp m	3.040	測定パイプの内径 d m	0.114	等価内径 de m	0.114

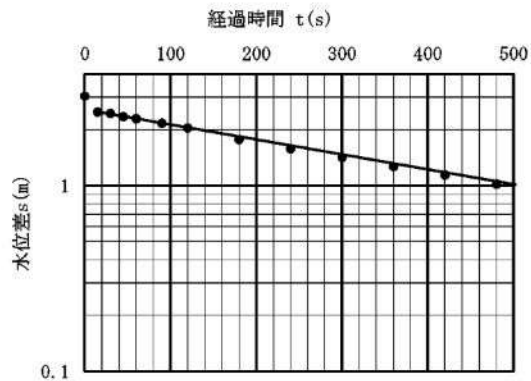
試験記録

経過時間 t s	水位測定管内水位 h GL m	水位差 s (=ho-h) m
0	-5.840	3.040
15	-5.300	2.500
30	-5.250	2.450
45	-5.160	2.360
60	-5.100	2.300
90	-4.980	2.180
120	-4.850	2.050
180	-4.570	1.770
240	-4.380	1.580
300	-4.220	1.420
360	-4.070	1.270
420	-3.940	1.140
480	-3.820	1.020
540	-3.710	0.910
600	-3.600	0.800
900	-3.300	0.500
1,200	-3.140	0.340
1,500	-3.060	0.260
1,800	-3.020	0.220
2,100	-3.000	0.200
2,400	-2.970	0.170
2,700	-2.950	0.150
3,000	-2.920	0.120
3,300	-2.890	0.090
3,600	-2.870	0.070
5,400	-2.800	0.000
7,200	-2.800	0.000

h-t曲線



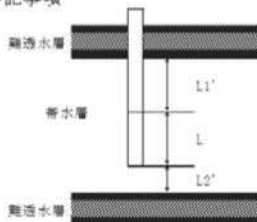
Log s-t 曲線



試験結果

直線上の点座標 t1 s	15	直線勾配 a 1/s	8.05E-04	透水係数 k m/s	1.47E-05
直線上の点座標 t2 s	60	$a = \frac{\log(s1/s2)}{t2-t1}$	$k = \frac{(2.3de)^2}{8L} \log\left(\frac{2L}{D}\right)a$		
直線上の点座標 s1 m	2.500				
直線上の点座標 s2 m	2.300				

特記事項



JGS 1314	単孔を利用した透水試験(非定常法/直線勾配法)
----------	-------------------------

調査件名 平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調査 委託 試験年月日 平成26年8月25日

地点番号 (地盤高) No. 7

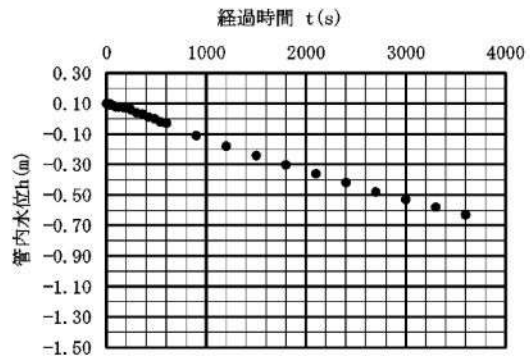
試験者 本間

試験条件	試験方法	投入	天候	晴れ
	試験区間の深さ GL m	-11.00 ~ -11.50	管口の高さ GL m	+0.10
	試験区間の長さ L m	0.50	上部離隔長 L1' m	0.00
	平衡水位測定	試験後	下部離隔長 L2' m	0.00
	平衡水位 hoGL m	-2.900	試験区間の孔径 D m	0.086
試験開始水位差 sp m	3.000	測定パイプの内径 d m	0.114	
		等価内径 de m	0.114	

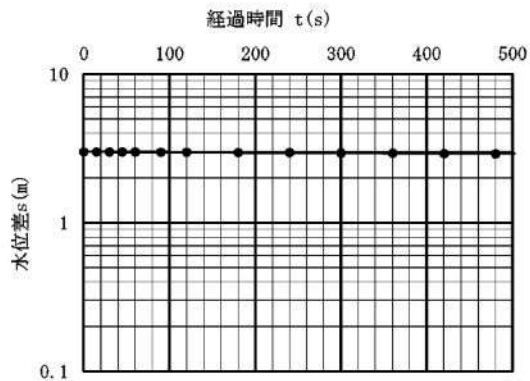
試験記録

経過時間 t s	水位測定管内水位 h GL m	水位差 s (=ho-h) m
0	0.100	3.000
15	0.100	3.000
30	0.100	3.000
45	0.090	2.990
60	0.090	2.990
90	0.080	2.980
120	0.080	2.980
180	0.070	2.970
240	0.060	2.960
300	0.040	2.940
360	0.030	2.930
420	0.010	2.910
480	0.000	2.900
540	-0.020	2.880
600	-0.030	2.870
900	-0.110	2.790
1,200	-0.180	2.720
1,500	-0.240	2.660
1,800	-0.300	2.600
2,100	-0.360	2.540
2,400	-0.420	2.480
2,700	-0.480	2.420
3,000	-0.530	2.370
3,300	-0.580	2.320
3,600	-0.630	2.270
5,400	-0.860	2.040
7,200	-1.100	1.800
9,000	-1.280	1.620
10,800	-1.450	1.450

h-t曲線



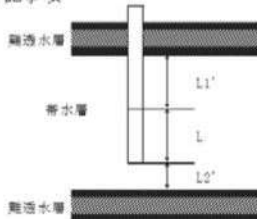
Log s-t 曲線



試験結果

直線上の点座標 t1 s	0	直線勾配 a 1/s	2.42E-05	透水係数 k m/s	4.43E-07
直線上の点座標 t2 s	60	$a = \frac{\log(s1/s2)}{t2-t1}$	$k = \frac{(2.3de)^2}{8L} \log\left(\frac{2L}{D}\right)a$		
直線上の点座標 s1 m	3.000				
直線上の点座標 s2 m	2.990				

特記事項



JGS 1314	単孔を利用した透水試験(非定常法/直線勾配法)
----------	-------------------------

調査件名 平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調査 試験年月日 平成26年8月25日
委託

地点番号 (地盤高) No. 7

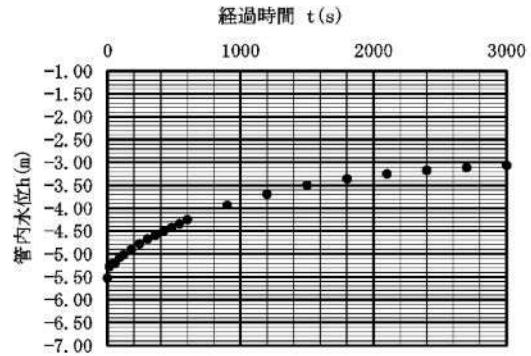
試験者 本間

試験条件	試験方法	汲上げ(回復)	天候	晴れ
	試験区間の深さ GL m	-11.00 ~ -11.50	管口の高さ GL m	+0.10
	試験区間の長さ L m	0.50	上部離隔長 L1' m	0.00
	平衡水位測定	試験後	下部離隔長 L2' m	0.00
	平衡水位 hoGL m	-2.900	試験区間の孔径 D m	0.086
試験開始水位差 sp m	2.630	測定パイプの内径 d m	0.114	
		等価内径 de m	0.114	

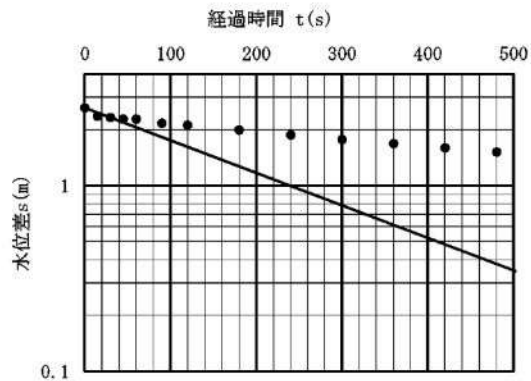
試験記録

経過時間 t s	水位測定管内水位 h GL m	水位差 s (=ho-h) m
0	-5.530	2.630
15	-5.270	2.370
30	-5.230	2.330
45	-5.190	2.290
60	-5.190	2.290
90	-5.080	2.180
120	-5.020	2.120
180	-4.900	2.000
240	-4.780	1.880
300	-4.670	1.770
360	-4.590	1.690
420	-4.500	1.600
480	-4.420	1.520
540	-4.340	1.440
600	-4.250	1.350
900	-3.930	1.030
1,200	-3.690	0.790
1,500	-3.500	0.600
1,800	-3.360	0.460
2,100	-3.250	0.350
2,400	-3.170	0.270
2,700	-3.110	0.210
3,000	-3.060	0.160
3,300	-3.030	0.130
3,600	-3.000	0.100
5,400	-2.920	0.020
7,200	-2.900	0.000
9,000	-2.900	0.000
10,800	-2.900	0.000

h-t曲線



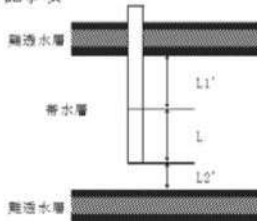
Log s-t 曲線



試験結果

直線上の点座標 t1 s	0	直線勾配 a 1/s	1.75E-03	透水係数 k m/s	3.21E-05
直線上の点座標 t2 s	30	$a = \frac{\log(s1/s2)}{t2-t1}$	$k = \frac{(2.3de)^2}{8L} \log\left(\frac{2L}{D}\right)a$		
直線上の点座標 s1 m	2.630				
直線上の点座標 s2 m	2.330				

特記事項



JGS 1314	単孔を利用した透水試験(非定常法/直線勾配法)
----------	-------------------------

調査件名 平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調査 委託 試験年月日 平成26年8月29日

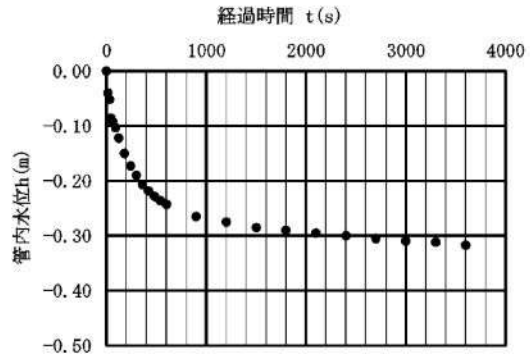
地点番号 (地盤高) No. 8 試験者 土田

試験条件	試験方法	投入	天候	晴れ
	試験区間の深さ GL m	-7.50 ~ -8.00	管口の高さ GL m	+0.50
	試験区間の長さ L m	0.50	上部離隔長 L1' m	0.00
	平衡水位測定	試験後	下部離隔長 L2' m	0.00
	平衡水位 hoGL m	-2.040	試験区間の孔径 D m	0.066
試験開始水位差 sp m	2.120	測定パイプの内径 d m	0.102	
		等価内径 de m	0.102	

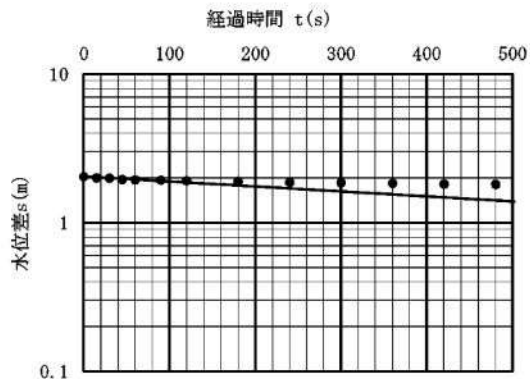
試験記録

経過時間 t s	水位測定管内水位 h GL m	水位差 s (=ho-h) m
0	0.000	2.040
15	-0.040	2.000
30	-0.052	1.988
45	-0.086	1.954
60	-0.092	1.948
90	-0.103	1.937
120	-0.122	1.918
180	-0.150	1.890
240	-0.173	1.867
300	-0.190	1.850
360	-0.207	1.833
420	-0.218	1.822
480	-0.228	1.812
540	-0.236	1.804
600	-0.243	1.797
900	-0.265	1.775
1,200	-0.275	1.765
1,500	-0.285	1.755
1,800	-0.290	1.750
2,100	-0.295	1.745
2,400	-0.300	1.740
2,700	-0.305	1.735
3,000	-0.310	1.730
3,300	-0.312	1.728
3,600	-0.317	1.723
5,400	-0.335	1.705
7,200	-0.356	1.684
9,000	-0.376	1.664

h-t曲線



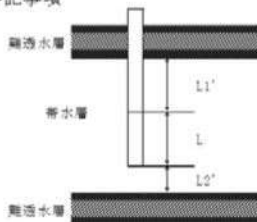
Log s-t 曲線



試験結果

直線上の点座標 t1 s	0	直線勾配 a 1/s	3.34E-04	透水係数 k m/s	5.43E-06
直線上の点座標 t2 s	60	$a = \frac{\log(s1/s2)}{t2-t1}$	$k = \frac{(2.3de)^2}{8L} \log\left(\frac{2L}{D}\right)a$		
直線上の点座標 s1 m	2.040				
直線上の点座標 s2 m	1.948				

特記事項



JGS 1314	単孔を利用した透水試験(非定常法/直線勾配法)
----------	-------------------------

調査件名 平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調査 委託
 試験年月日 平成26年8月29日

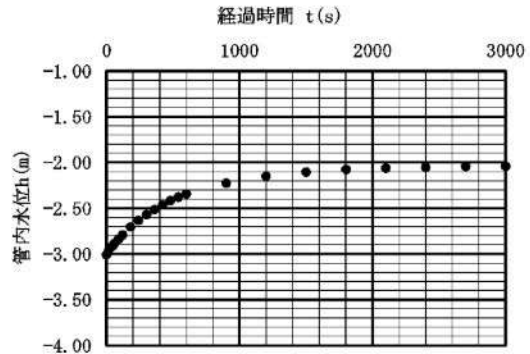
地点番号 (地盤高) No. 8 試験者 土田

試験条件	試験方法	汲上げ(回復)	天候	晴れ
	試験区間の深さ GL m	-7.50 ~ -8.00	管口の高さ GL m	+0.50
	試験区間の長さ L m	0.50	上部離隔長 L1' m	0.00
	平衡水位測定	試験後	下部離隔長 L2' m	0.00
	平衡水位 hoGL m	-2.040	試験区間の孔径 D m	0.066
試験開始水位差 sp m	0.890	測定パイプの内径 d m	0.102	
		等価内径 de m	0.102	

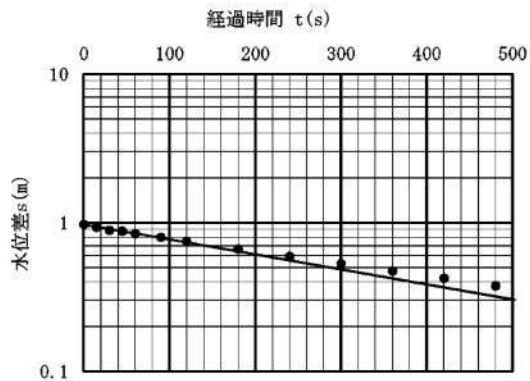
試験記録

経過時間 t s	水位測定管内水位 h GL m	水位差 s (=ho-h) m
0	-3.010	0.970
15	-2.972	0.932
30	-2.930	0.890
45	-2.915	0.875
60	-2.884	0.844
90	-2.835	0.795
120	-2.790	0.750
180	-2.706	0.666
240	-2.633	0.593
300	-2.570	0.530
360	-2.512	0.472
420	-2.463	0.423
480	-2.416	0.376
540	-2.377	0.337
600	-2.342	0.302
900	-2.225	0.185
1,200	-2.150	0.110
1,500	-2.105	0.065
1,800	-2.075	0.035
2,100	-2.060	0.020
2,400	-2.050	0.010
2,700	-2.040	0.000
3,000	-2.040	0.000
3,300	-2.040	0.000
3,600	-2.040	0.000

h-t曲線



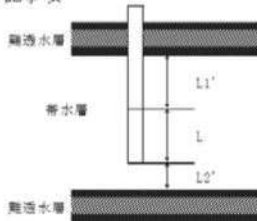
Log s-t 曲線



試験結果

直線上の点座標 t1 s	0	直線勾配 a 1/s	1.01E-03	透水係数 k m/s	1.64E-05
直線上の点座標 t2 s	60	$a = \frac{\log(s1/s2)}{t2-t1}$		$k = \frac{(2.3de)^2}{8L} \log\left(\frac{2L}{D}\right)a$	
直線上の点座標 s1 m	0.970				
直線上の点座標 s2 m	0.844				

特記事項



JGS 1314	単孔を利用した透水試験(非定常法/直線勾配法)
----------	-------------------------

調査件名 平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調査 委託 試験年月日 平成26年7月28日

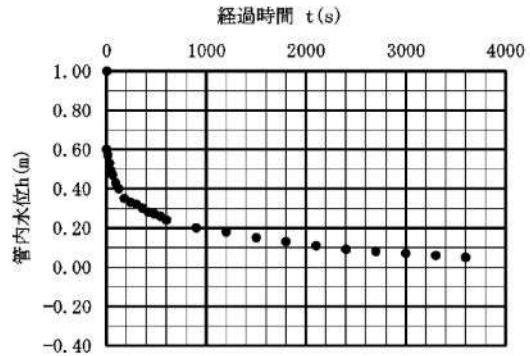
地点番号(地盤高) No.9 試験者 齊藤

試験条件	試験方法	投入	天候	晴れ
	試験区間の深さ GL m	-8.00 ~ -8.50	管口の高さ GL m	+0.60
	試験区間の長さ L m	0.50	上部離隔長 L1' m	0.00
	平衡水位測定	試験後	下部離隔長 L2' m	0.00
	平衡水位 hoGL m	-2.100	試験区間の孔径 D m	0.086
試験開始水位差 sp m	2.700	測定パイプの内径 d m	0.100	
		等価内径 de m	0.100	

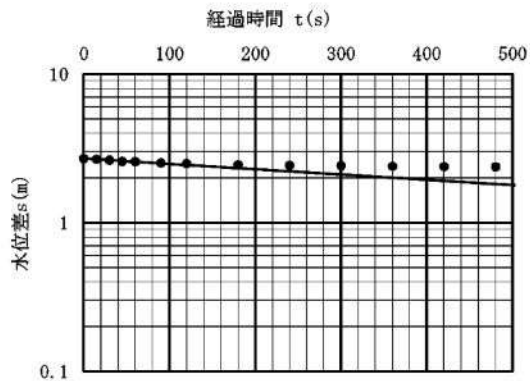
試験記録

経過時間 t s	水位測定管内水位 h GL m	水位差 s (=ho-h) m
0	0.600	2.700
15	0.570	2.670
30	0.530	2.630
45	0.490	2.590
60	0.470	2.570
90	0.430	2.530
120	0.400	2.500
180	0.350	2.450
240	0.330	2.430
300	0.320	2.420
360	0.300	2.400
420	0.280	2.380
480	0.270	2.370
540	0.260	2.360
600	0.240	2.340
900	0.200	2.300
1,200	0.180	2.280
1,500	0.150	2.250
1,800	0.130	2.230
2,100	0.110	2.210
2,400	0.090	2.190
2,700	0.080	2.180
3,000	0.070	2.170
3,300	0.060	2.160
3,600	0.050	2.150
5,400	0.010	2.110
7,200	-0.020	2.080

h-t曲線



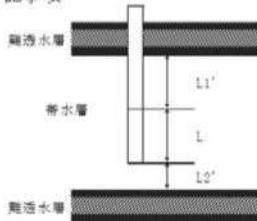
Log s-t 曲線



試験結果

直線上の点座標 t1 s	0	直線勾配 a 1/s	3.57E-04	透水係数 k m/s	5.03E-06
直線上の点座標 t2 s	60	$a = \frac{\log(s1/s2)}{t2-t1}$	$k = \frac{(2.3de)^2}{8L} \log\left(\frac{2L}{D}\right)a$		
直線上の点座標 s1 m	2.700				
直線上の点座標 s2 m	2.570				

特記事項



JGS 1314	単孔を利用した透水試験(非定常法/直線勾配法)
----------	-------------------------

調査件名 平成26年度 委東下第5号 大石排水区大石2号貯留管他地質調査 試験年月日 平成26年7月28日
委託

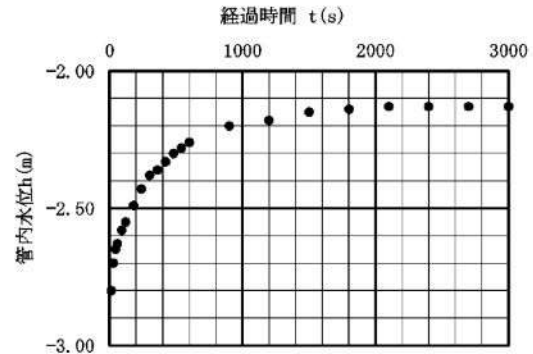
地点番号 (地盤高) No. 9 試験者 齊藤

試験条件	試験方法	汲上げ(回復)	天候	晴れ
	試験区間の深さ GL m	-8.00 ~ -8.50	管口の高さ GL m	+0.60
	試験区間の長さ L m	0.50	上部離隔長 L1' m	0.00
	平衡水位測定	試験後	下部離隔長 L2' m	0.00
	平衡水位 hoGL m	-2.100	試験区間の孔径 D m	0.086
試験開始水位差 sp m	0.700	測定パイプの内径 d m	0.100	
等価内径 de m 0.100				

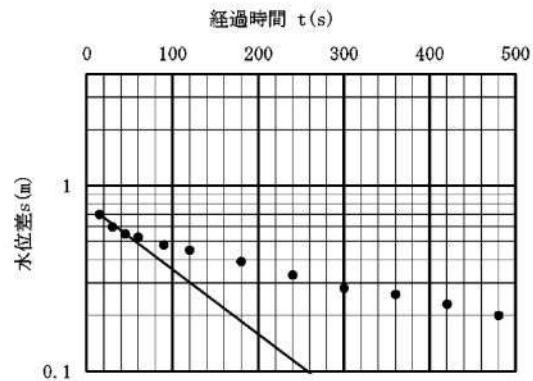
試験記録

経過時間 t s	水位測定管内水位 h GL m	水位差 s (=h ₀ -h) m
0		
15	-2.800	0.700
30	-2.700	0.600
45	-2.650	0.550
60	-2.630	0.530
90	-2.580	0.480
120	-2.550	0.450
180	-2.490	0.390
240	-2.430	0.330
300	-2.380	0.280
360	-2.360	0.260
420	-2.330	0.230
480	-2.300	0.200
540	-2.280	0.180
600	-2.260	0.160
900	-2.200	0.100
1,200	-2.180	0.080
1,500	-2.150	0.050
1,800	-2.140	0.040
2,100	-2.130	0.030
2,400	-2.130	0.030
2,700	-2.130	0.030
3,000	-2.130	0.030
3,300	-2.130	0.030
3,600	-2.130	0.030

h-t曲線



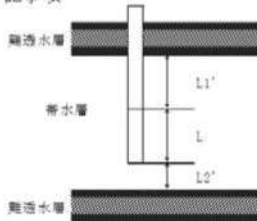
Log s-t 曲線



試験結果

直線上の点座標 t1 s	15	直線勾配 a 1/s	3.49E-03	透水係数 k m/s	4.92E-05
直線上の点座標 t2 s	45	$a = \frac{\log(s_1/s_2)}{t_2 - t_1}$	$k = \frac{(2.3de)^2}{8L} \log\left(\frac{2L}{D}\right)a$		
直線上の点座標 s1 m	0.700				
直線上の点座標 s2 m	0.550				

特記事項



1. スクリーン仕様書

本スクリーンは、雨水中の夾雑物を捕捉することを目的に設けるものである。

1. 機器仕様

(1) スクリーン

・仕様

- ①形式 ステンレス製バースクリーン
- ②形状 2.0m×2.0m
- ③取付角度 90°
- ④有効目幅 70mm
- ⑤数量 1基
- ⑥材質 SUS304

・付属品

- ①ゴミ掻き用熊手 アルミ製 1組
- ②ケミカルアンカー 1式

(1) 開閉式スクリーン

・仕様

- ①形式 ステンレス製バースクリーン
- ②形状 1.0m×2.0m
- ③取付角度 90°
- ④有効目幅 70mm
- ⑤数量 2基
- ⑥材質 SUS304

・付属品

- ①ケミカルアンカー 1式

・特記事項

- ①維持管理の人通孔として使用するため、開閉構造を有すること。

■ 大石排水区貯留施設 シール材見積仕様書

表一 シール材見積条件

項 目	条 件	確 認
1.工事件名	大石排水区大石2号貯留管下水道工事	
2.資料の宛先	新潟市下水道部東部地域下水道事務所	
3.シールド材	水膨張性	
4.貼り付け	全周貼付	
5.セグメント外径	φ 3,650 mm	二次覆工省略型
6.仕上がり内径	φ 3,250 mm	
7.セグメント幅	0.277m、0.3m、0.476m、0.5m、0.578m、 0.6m、1.2 m	
8.セグメント分割数	6 分割	
9.提出資料の種類と部数	・検討書 2部 ・見積書 2部	
10.提出期限	別紙参照	

【特記事項】

- シール材貼付費も計上のこと。
- 1m当りの見積を提出のこと。

■ 大石排水区貯留施設 コーキング材見積仕様書

表一 コーキング材見積条件

項 目	条 件	確 認
1.工事件名		
2.資料の宛先	新潟市役所	
3.コーキング材	エポキシ系	
4.セグメント外径	φ 3,650 mm	二次覆工省略型
5.仕上がり内径	φ 3,250 mm	
6.セグメント幅	0.277 m、0.3 m、0.476 m、0.5 m、 0.578 m、0.6 m、1.2 m	
7.セグメント分割数	6 分割	
8.提出資料の種類と部数	・検討書 2部 ・見積書 2部	
9.提出期限	平成 27 年 月 日 () ごろ	

【特記事項】

- ・ コーキング材貼付費も計上のこと。
- ・ 1m当りの見積を提出のこと。

■ 大石排水区貯留施設 ボルトボックス充填材見積仕様書

表一 ボルトボックス充填材見積条件

項 目	条 件	確 認
1.工事件名	大石排水区大石2号貯留管下水道工事	
2.資料の宛先	新潟市下水道部東部地域下水道事務所	
3.セグメント外径	φ 3,650 mm	二次覆工省略型
4.仕上がり内径	φ 3,250 mm	
5.セグメント幅	0.3m、0.5m、0.6m、1.2 m	
6.セグメント分割数	6 分割	
7.ボルトボックス	68,379 箇所(2436 リング)	
8.ボルトボックス充填量	85.719 m ³	
9.提出資料の種類と部数	・検討書 2部 ・見積書 2部	
10.提出期限	別紙参照	

【特記事項】

- モルタル材充填費も計上のこと。
- 1m³ 当りの見積を提出のこと。

■ 大石排水区貯留施設 裏込め材見積仕様書

表一 裏込め材見積条件

項 目	条 件	確 認
1.工事件名	大石排水区大石2号貯留管下水道工事	
2.資料の宛先	新潟市下水道部東部地域下水道事務所	
3.シールド工法	泥土圧方式・防爆対応	
4.セグメント外径	φ 3,650 mm	二次覆工省略型
5.仕上がり内径	φ 3,250 mm	
6.裏込め材(A 液)	<ul style="list-style-type: none"> ・硬化剤 (kg/m³) ・助剤 (kg/m³) ・安定剤 (kg/m³) ・水 (L/m³) 	
7. 裏込め材(B 液)	<ul style="list-style-type: none"> ・可塑材 (L/m³) 	
8.提出資料の種類と部数	<ul style="list-style-type: none"> ・見積書 2部 ・配合割合 2部 	
9.提出期限	別紙参照	

■ 大石排水区貯留施設 ゴム製摩耗板見積仕様書

表一 ゴム製摩耗板見積条件

項 目	条 件	確 認
1.工事件名	大石排水区大石2号貯留管下水道工事	
2.資料の宛先	新潟市下水道部東部地域下水道事務所	
3.落差人孔	N=6 基	別紙参考図面参照
4.規格	形 式 : 多段式落差工 形 状 : 円形、矩形人孔 (別途図面参照) 材 質 : ゴム製 設置面積:A=71.60m ² 落下高(別途図面参照) 付属品 : 一式(取付け金物等) ※見積りは設置費も計上する。	
5.提出資料の種類と部数	見積書 2部	
6.提出期限	別紙参照	

【特記事項】

設置面積合計

No.1	落差人孔	(円形)	38.740 m ²
No.2	落差人孔	(円形)	16.560 m ²
No.3	分水人孔	(矩形)	8.528 m ²
No.7	分水人孔	(矩形)	7.776 m ²
合計			71.604 m ²

※ 別途図面については、『6-東下第50号設計書・図面』の図面No.26～31, 33, 35, 36と同様の図面です。

平成27年11月16日

新潟市建設工事参加業者 各位

東部地域下水道事務所建設課
財 務 部 契 約 課

東下第50号 大石排水区大石2号貯留管下水道工事
の積算内容について（お知らせ）

東下第50号 大石排水区大石2号貯留管下水道工事の積算書について、下記の通り積算しております。

積算にあたってはご注意くださいよう、よろしく願いいたします。

記

- ・ 『積算書 - 本工事費内訳表 - 管路 - マンホール工 - No.1 落差人孔築造 - 付属施設設置工 - 開閉式バースクリーン』の数量（1基）について、積算書の数量（1基）と設計図面に表示されている開閉式バースクリーンの数（2基）に差異がありますが、積算書の数量(1基)の通り積算してください。
上記内容については契約後、設計変更の対象としますので、積算書の通り積算してください。
- ・ 『積算書 - 本工事費内訳表 - 管路 - 管きょ工（シールド） - 一次覆工 - セグメント - コンクリート中詰め鋼製セグメント - セグメント外径 3650 内径 3250 幅 1200 厚 200 柱部甲 2 及びセグメント外径 3650 内径 3250 幅 1200 厚 200 柱部乙 2』の表記について、下記の通り誤りがありました。参考図 - 8 及び参考図 - 9 の開口部コンクリート中詰め鋼製セグメント構造図を参考に積算してください。

正：『開口部』

誤：『柱部』

—以 上—

** 本工事費 ** 内訳表

費目・工種・施工名称・管理費区分	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
開口部 特別単価調査 0 省略	1		リ	ン						572
コンクリート中詰め鋼製セグメント セグメント外径3650 内径3250 幅1200 厚200 柱部甲1 特別単価調査 0 省略	1		リ	ン					WCS01	572
コンクリート中詰め鋼製セグメント セグメント外径3650 内径3250 幅1200 厚200 柱部乙1 特別単価調査 0 省略	1		リ	ン					WCS01	572
開口部	コンクリート中詰め鋼製セグメント セグメント外径3650 内径3250 幅1200 厚200 柱部甲2 特別単価調査 0 省略	1	リ	ン					WCS01	572
開口部	コンクリート中詰め鋼製セグメント セグメント外径3650 内径3250 幅1200 厚200 柱部乙2 特別単価調査 0 省略	1	リ	ン					WCS01	572
コンクリート中詰め鋼製セグメント セグメント外径3650 内径3250 幅600 厚200 急曲線R80部用 特別単価調査 0 省略	63		リ	ン					WCS01	572
コンクリート中詰め鋼製セグメント セグメント外径3650 内径3250 幅500 厚200 急曲線R50、60部用 特別単価調査 0 省略	95		リ	ン					WCS01	572
コンクリート中詰め鋼製セグメント セグメント外径3650 内径3250 幅300 厚200 急曲線R30部用 特別単価調査 0 省略	890		リ	ン					WCS01	572
可とうセグメント セグメント外径3650 内径3250 幅500 特別単価調査 0 省略	2		リ	ン					WKS01	572
ボルトボックス充填 材工 材料ロス1.1を含む 特別単価調査 0 省略	85.7		m						WBJ01	572
シール材 全周張り シール溝25×20×2.3h 水膨張性 材工 特別単価調査 0 省略	51,470		m						WSS01	572
シール材 全周張り シール溝24×20×2h 水膨張性 材工 特別単価調査 0 省略	27,828		m						WSS01	572
セグメント目地コーキング充填 ボール系 RCセグメント幅12mm、深さ15mm 材工 (材料ロス1.1を含む)									WSK01	

6. 水中底盤コンクリート厚の計算

6. 1 検討条件

ケーソン内径	$\phi i = 5.500 \text{ m}$
設計水位	GL = 0.000 m
水中コンクリート厚	$t = 1.500 \text{ m}$
対象深さ	$L = 13.200 \text{ m}$ (設計水位よりケーソン下端までの深さ)

6. 2 荷重

ロット駆体重量	$W_c = 3591.22 \text{ kN}$ (浮き上がり照査より)
水中コンクリート重量	$W_{c2} = 976.00 \text{ kN}$ (")
浮力	$U_u = 4794.00 \text{ kN}$ (")

$$\begin{aligned} \Sigma W &= W_c + W_{c2} - U_u \\ &= 3591.22 + 976.00 - 4794.00 = -226.78 \text{ kN} \end{aligned}$$

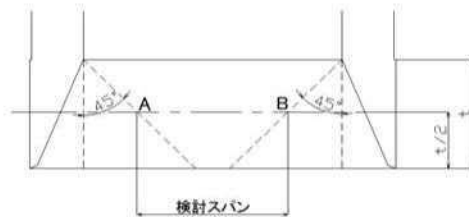
$$\begin{aligned} A &= \pi/4 \times \phi i^2 \\ &= \pi/4 \times 5.50^2 = 23.76 \text{ m}^2 \end{aligned}$$

水中コンクリート自重	$W_{w0} = -1.500 \text{ m} \times 23.0 \text{ kN/m}^3 = -34.50 \text{ kN/m}^2$
静水圧	$P_w = 13.200 \text{ m} \times 10.0 \text{ kN/m}^3 = 132.00 \text{ kN/m}^2$
地盤反力	$q = (\Sigma W - U_u) / A = -226.78 / 23.76 = -9.54 \text{ kN/m}^2$

$$\begin{aligned} W &= W_{w0} + P_w + q \\ &= -34.50 + 132.00 + -9.54 = 87.96 \text{ kN/m}^2 \end{aligned}$$

6. 3 断面力の計算

検討スパン $l = 4.00 \text{ m}$ 半径 $r = 2.00 \text{ m}$
 周辺単純支持の円版として検討する。



$$\text{曲げモーメント} \quad M = (3+\nu) \times W \times r^2 / 16 = (3+1/6) \times 87.96 \times 2.000^2 / 16 = 69.6 \text{ kN} \cdot \text{m}$$

$$\text{せん断力} \quad S = W \times r / 2 = 87.96 \times 2 / 2 = 88.0 \text{ kN}$$

6. 4 応力度の照査

$$\text{コンクリートの断面係数} \quad Z_c = 1/6 \times b \times h^2 = 1/6 \times 1000 \times 1500^2 = 375 \times 10^6 \text{ mm}^3$$

$$\begin{aligned} \text{曲げ引張り応力度} \quad \sigma_t &= M / Z_c = 69.6 \times 10^6 / 375 \times 10^6 \\ &= 0.19 \text{ N/mm}^2 < \sigma_a = 0.30 \times 1.50 = 0.45 \text{ N/mm}^2 \end{aligned} \quad \text{OK}$$

曲げ引張り応力度「道路土工 擁壁工指針 平成24年版 日本道路協会 P-81」

$$\begin{aligned} \text{せん断応力度} \quad \tau &= S / (b \times h) = 88.0 \times 10^3 / (1000 \times 1500) \\ &= 0.06 \text{ N/mm}^2 < \tau_a = 0.23 \times 1.50 = 0.35 \text{ N/mm}^2 \end{aligned} \quad \text{OK}$$

曲げ引張り応力度「道路土工 擁壁工指針 平成24年版 日本道路協会 P-81」

■ 大石排水区貯留施設 コンクリートセグメント見積仕様書

表一 コンクリートセグメント見積条件

項 目	条 件	確 認
1.工事件名	大石排水区大石2号貯留管下水道工事	
2.資料の宛先	新潟市下水道部東部地域下水道事務所	
3.シールド工法	泥土圧方式・防爆対応	
4.シールド機外径	φ 3,780 mm	
5.セグメント外径	φ 3,650 mm	二次覆工省略型
6.仕上がり内径	φ 3,250 mm	内水圧対応型
7.セグメント幅	1.2 m	直線部のみ
8.キーセグメント挿入方法	軸挿入	
9.曲率半径	30R (7 箇所)、50R、60R、80R、150R、 200R (3 箇所)	
10.施工延長	2,011.51m (路線延長)	別紙 延長説明図、平 面縦断図参照
11.土質条件	別紙柱状図、室内試験結果参照	
12.内水圧	地表面を内水位考慮時の水位とする	
13.土被り	7.93 m～11.28 m	別紙平面縦断図参照
14.提出資料の種類と部数	・見積書 2部	
15.提出期限	別紙参照	

【特記事項】

- ・常時、耐震レベル 1、レベル 2 地震動、内水圧に適用可能であること。

※ 別紙延長説明図及び平面縦断図については、『6-東下第50号設計書・図面』の『参考図-1』及び『図面No.3～12』と同様の図面です。

※ 別紙柱状図及び室内試験結果については、『質疑回答000002-別紙資料』及び『質疑回答000013-別紙資料』を参照してください。

■ 大石排水区貯留施設 コンクリート中詰め鋼製セグメント見積仕様書

表一 コンクリート中詰め鋼製セグメント見積条件

項 目	条 件	確 認
1.工事件名	大石排水区大石2号貯留管下水道工事	
2.資料の宛先	新潟市下水道部東部地域下水道事務所	
3.シールド工法	泥土圧方式・防爆対応	
4.シールド機外径	φ 3,780 mm	
5.セグメント外径	φ 3,650 mm	二次覆工省略型
6.仕上がり内径	φ 3,250 mm	内水圧対応型
7.セグメント幅	30R : 0.3 m 50R・60R : 0.5 m 80R : 0.6 m 開口部:削孔径φ 480mm 開口部:削孔径φ 946mm	
8.キーセグメント挿入方法	軸挿入	
9.曲率半径	30R (7 箇所)、50R、60R、80R、150R、 200R (3 箇所)	
10.施工延長	2,011.51m(路線延長)	別紙 延長説明図、平 面縦断図参照
11.土質条件	別紙柱状図、室内試験結果参照	
12.内水圧	地表面を内水位考慮時の水位とする	
13.土被り	7.93 m～11.28 m	別紙平面縦断図参照
14.提出資料の種類と部数	・見積書 2部	
15.提出期限	別紙参照	

【特記事項】

- ・常時、耐震レベル1、レベル2地震動、内水圧に適用可能であること。

※ 別紙延長説明図及び平面縦断図については、『6-東下第50号設計書・図面』の『参考図-1』及び『図面No.3～12』と同様の図面です。

※ 別紙柱状図及び室内試験結果については、『質疑回答000002-別紙資料』及び『質疑回答000013-別紙資料』を参照してください。